

資料編

氷川町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略

資料 1

町民の満足度及び意識調査

資料 1－1 アンケート調査概要

第 1 期総合戦略の検証及び、第 2 期総合戦略へ氷川町民の意見を反映させるために、アンケート調査を実施した。調査の概要は以下の通り。

調査目的	➤ 各種満足度等の把握 ➤ 出産・子育て（育児）、仕事との両立についての意識の把握 ➤ 高校卒業後の希望等の把握 ➤ 移住・定住に関する意識の把握 ➤ 結婚・出産の意向の把握 ➤ 町外へ転出した世帯員の把握 ➤ 地域連携や地方創生等に関する意向の把握 ➤ 町の情報発信（SNS）に関する認知度の把握
調査対象	氷川町内 全 4,169 世帯
調査期間	2019 年 7 月 16 日（月）～2019 年 7 月 31 日（水）
調査方法	郵送による発送、回収
回収率	30.8%（回収数 1,284 通）
調査項目	資料編 61 ページ以降へ調査票掲載

資料１－２ アンケート調査結果

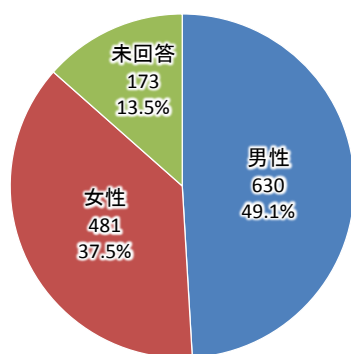
１－２－１ 回答者の属性

(１) 性別、年齢

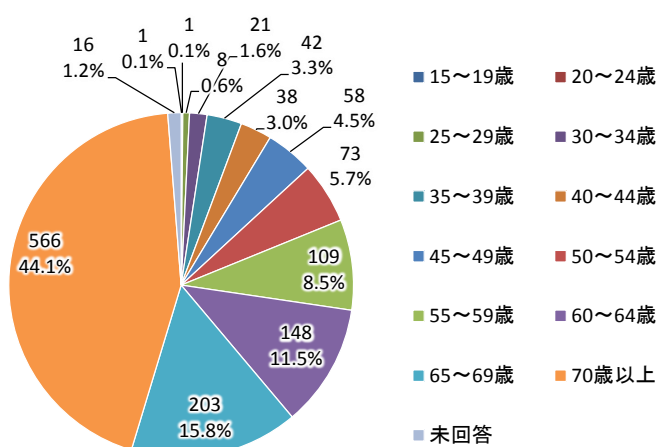
回答者の性別をみると、約半数の 49.1%が男性、37.5%が女性であった（図表 1）。

年齢については「70 歳以上」が 44.1%で最も多く、ついで「65～69 歳」が 15.8%、「60～64 歳」が 11.5%となっている（図表 2）。

図表 1 性別



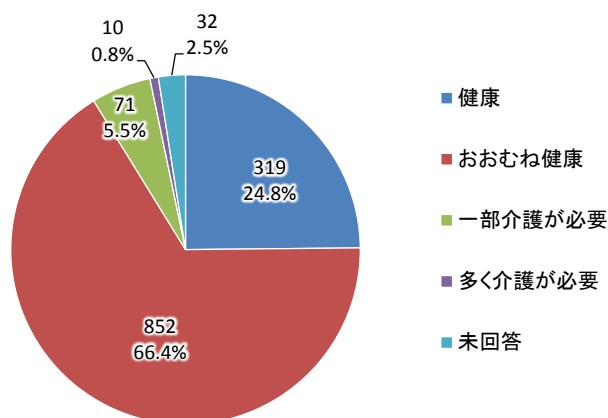
図表 2 年齢



(２) 健康状態

回答者の健康状態をみると、「おおむね健康」が最も多く、66.4%、ついで「健康」が 24.8%となった。回答者の年齢について、65 歳以上の高齢者が全体の約 6 割を占めていることもあり、「一部介護が必要」の回答も 5.5%あった（図表 3）。

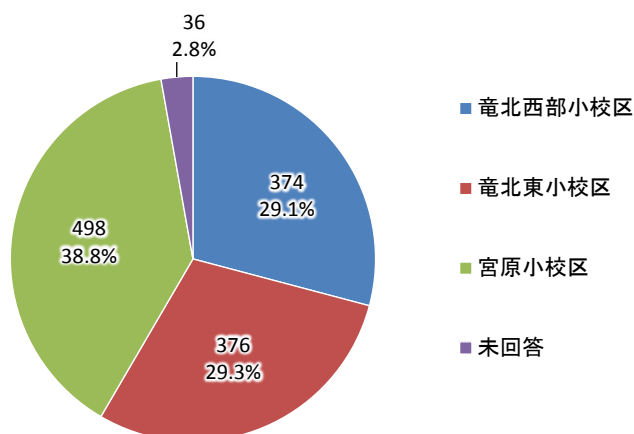
図表 3 健康状態



（３）居住校区と居住期間

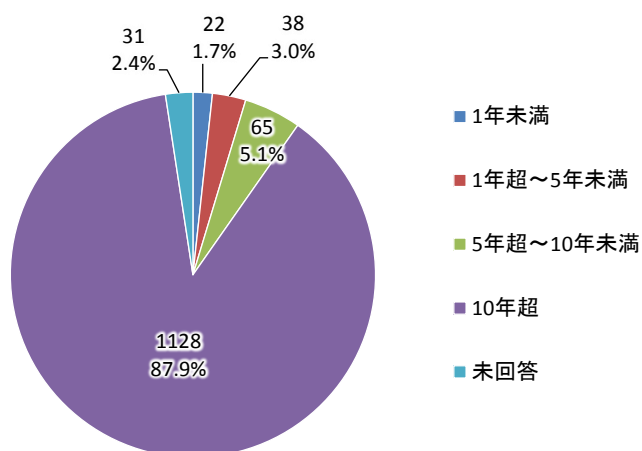
回答者の居住校区をみると、「竜北西部小学校区」が 29.1%、「竜北東小学校区」が 29.3%、「宮原小学校区」が 38.8%となっている（図表 4）。

図表 4 居住校区



氷川町への居住期間をみると、最も多いのが「10 年超」で 87.9%を占める。氷川町に出生し、定住している町民が大半である一方で、10 年未満が 9.8%となっており、10 年以内に町内に転入してきた世帯は 1 割程度であることが分かる（図表 5）。

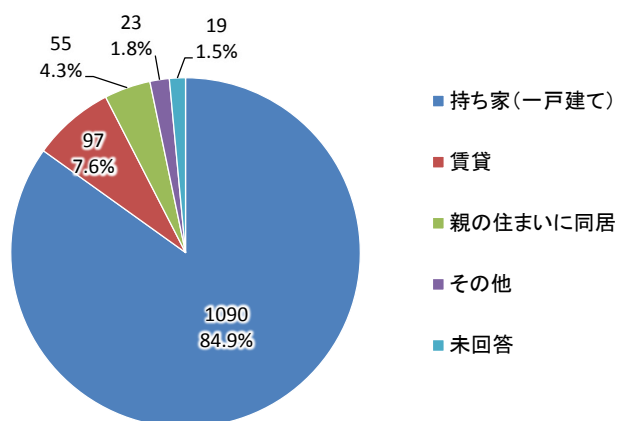
図表 5 町への居住期間



（４）居住形態

居住形態で最も多かったのは「持ち家（一戸建て）」で 84.9% となった。ついで、「賃貸」（7.6%）、「親の住まいに同居」（4.3%）となっている（図表 6）。

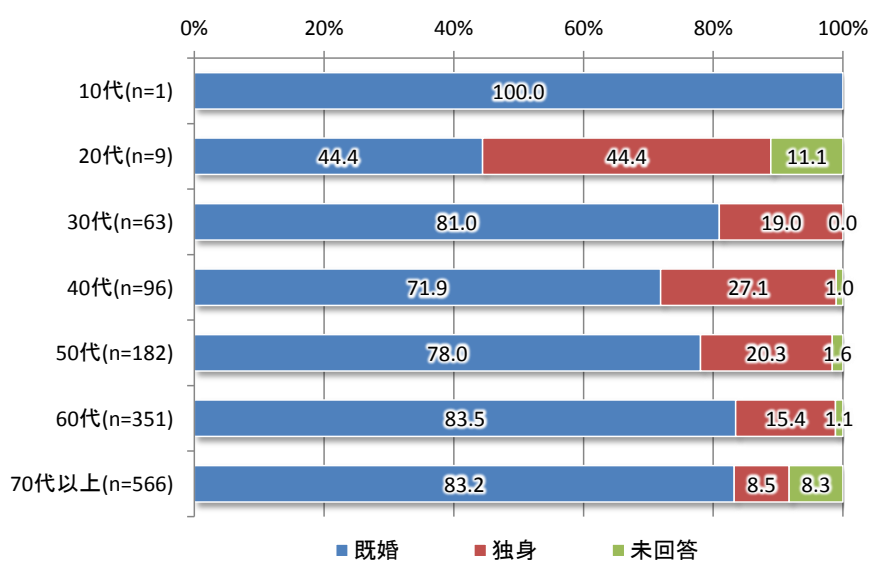
図表 6 居住形態



（５）結婚

回答者の既婚・独身について年齢別にみると、「20代」で最も独身の割合が高く 44.4% となっている。また「40代」でも約 3 割、「30代」「50代」でも約 2 割が独身となっている（図表 7）。

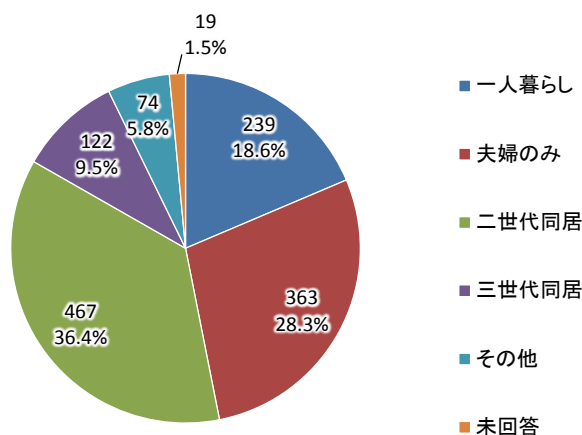
図表 7 結婚（年代別）



（６）家族構成及び高校生以下の子どもの有無

回答者の家族構成をみると、「一人暮らし」が 18.6%、「夫婦のみ」が 28.3%で、半数弱を占めている。また、核家族を含む親子での同居の「二世帯同居」が 36.4%となっている。さらに「三世帯同居」も約 1 割あり、その他の中には「四世代同居」の回答もみられた（図表 8）。

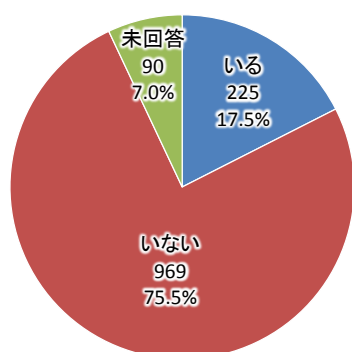
図表 8 家族構成



高校生以下の子どもがいる世帯は、全体の 17.5%で、子どもがいない世帯が 75.5%を占める（図表 9）。

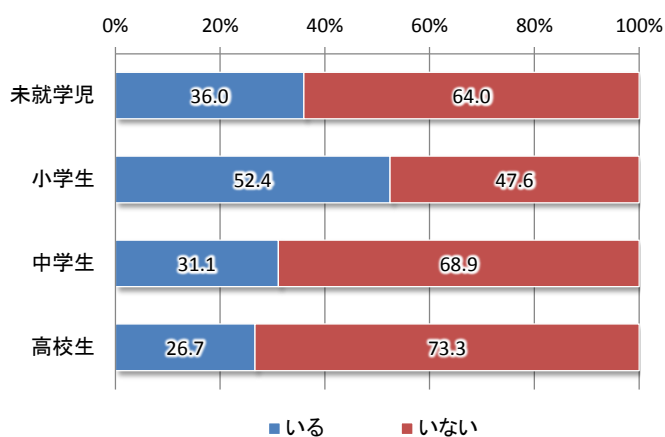
また子どもの年齢別にみると、未就学児がいる世帯が、36.0%、小学生がいる世帯が 52.4%、中学生がいる世帯が 31.1%、高校生がいる世帯が 26.7%となっている（図表 10）。

図表 9 高校生以下の子どもの有無



図表 10 高校生以下の子どもの有無

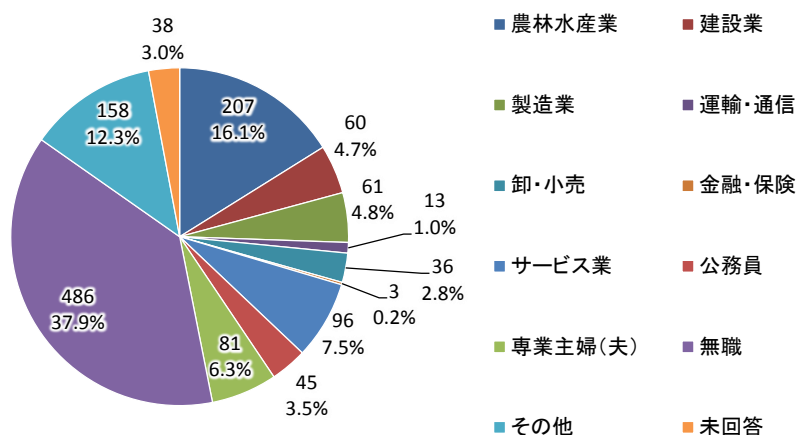
（子どもの年齢別）



（７）職業

回答者の職業をみると、65歳以上の高齢者が多いこともあり「無職」が最も多く37.9%となった。ついで最も多いのが「農林水産業」で16.1%となっており、熊本県全体と比較すると、氷川町の基幹産業である一次産業へ従事する割合が高くなっている（図表11）。

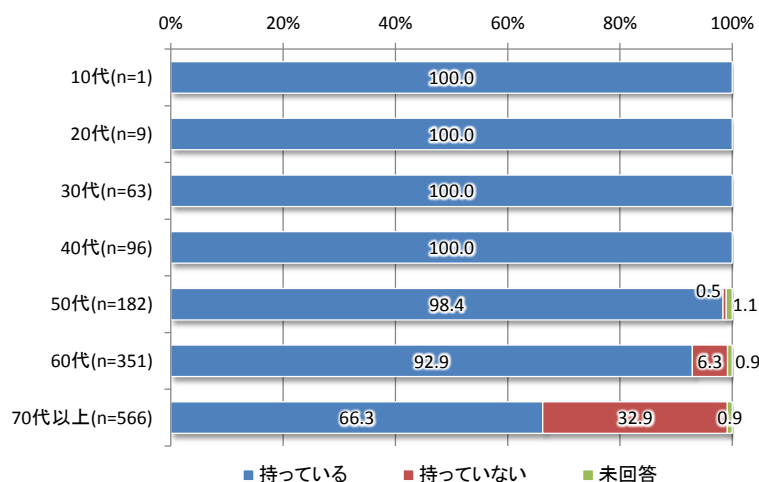
図表 11 職業



（８）自動車運転免許

自動車運転免許証の有無について、10代～40代は「持っている」が100%となっている。また、60代でも92.9%、70代以上でも66.3%が自動車運転免許を所有しており、町民の主な交通手段が自家用車となっているものと推察される（図表12）。

図表 12 自動車運転免許の有無（年代別）

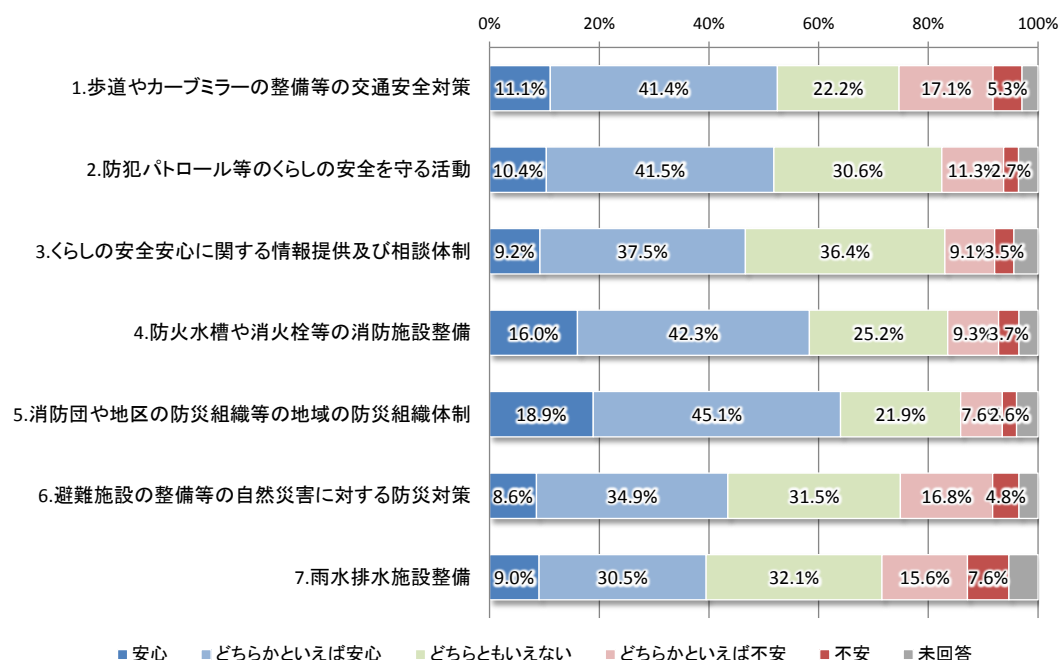


1-2-2 くらし安心・住みやすさについて

(1) くらし安心度

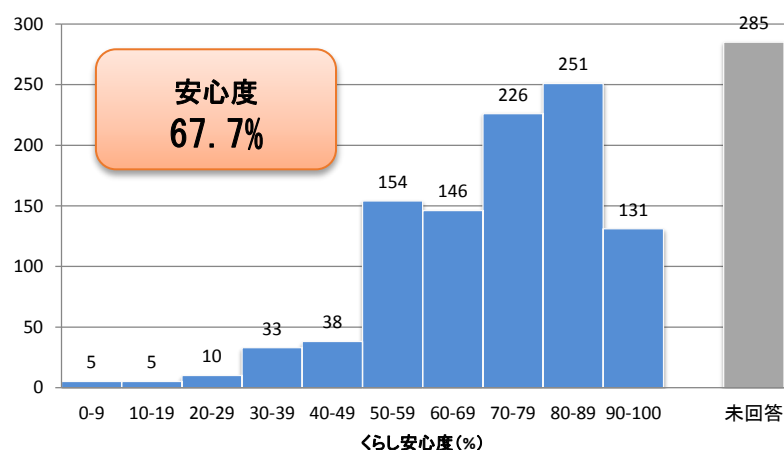
氷川町のくらし安心度に係る各項目の安心度をみると、最も安心度が高い（「安心」「どちらかといえば安心」）のは「消防団や地区の防災組織等の地域の防災組織体制」で64.0%となった。（図表13）。

図表13 「くらし安心度」に関する項目別安心度



また、氷川町のくらし安心度を0～100%で評価し、算出した安心度は67.7%となった。安心度別の分布は以下の通り（図表14）。

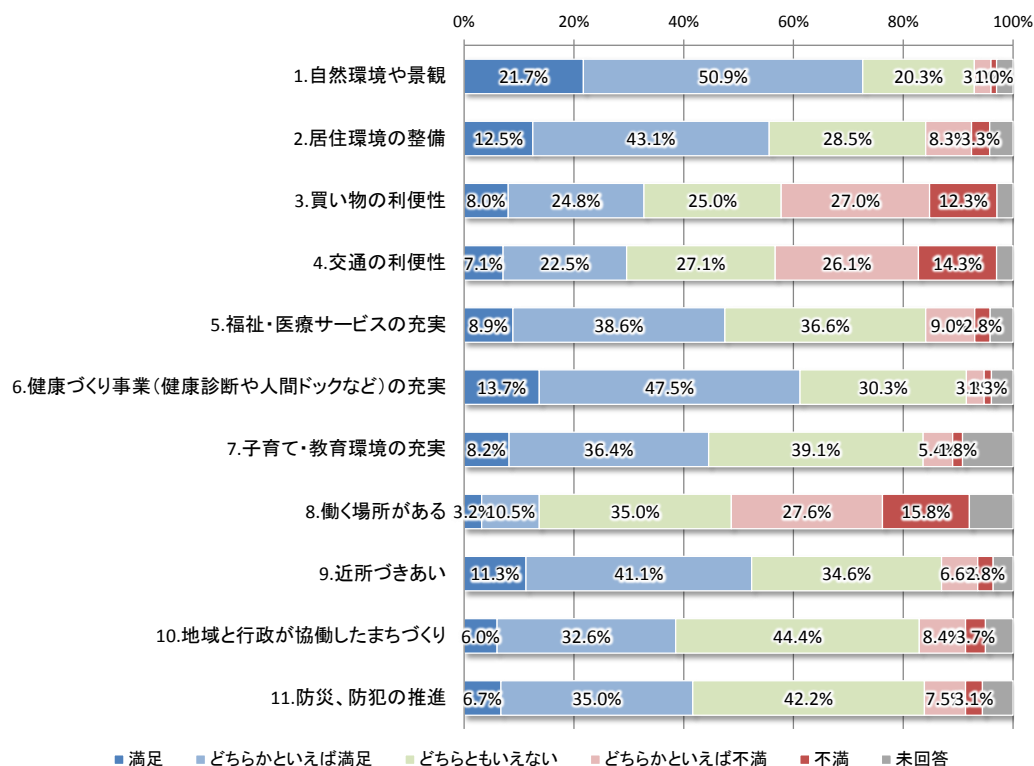
図表14 「くらし安心度」分布



（２）住みやすさ満足度

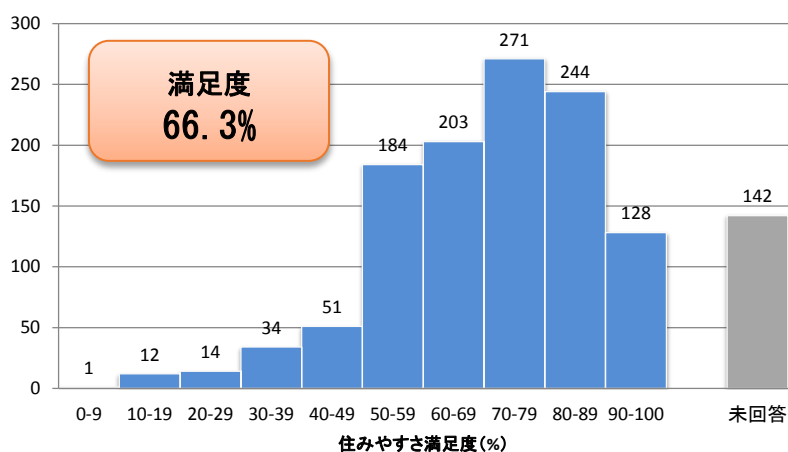
氷川町の住みやすさ満足度に係る各項目の満足度をみると、最も満足度が高い（「満足」「どちらかといえば満足」）のは「自然環境や景観」で72.6%となった。一方、最も満足度が低い（「どちらかといえば不満」「不満」）のは「働く場所がある」で43.4%、ついで「交通の利便性」40.4%、「買物の利便性」39.3%となった（図表15）。

図表15 「住みやすさ満足度」に関する項目別満足度



また、氷川町の住みやすさ満足度を0～100%で評価し、算出した満足度は66.3%となった。満足度別の分布は以下の通り（図表16）。

図表16 「住みやすさ満足度」分布

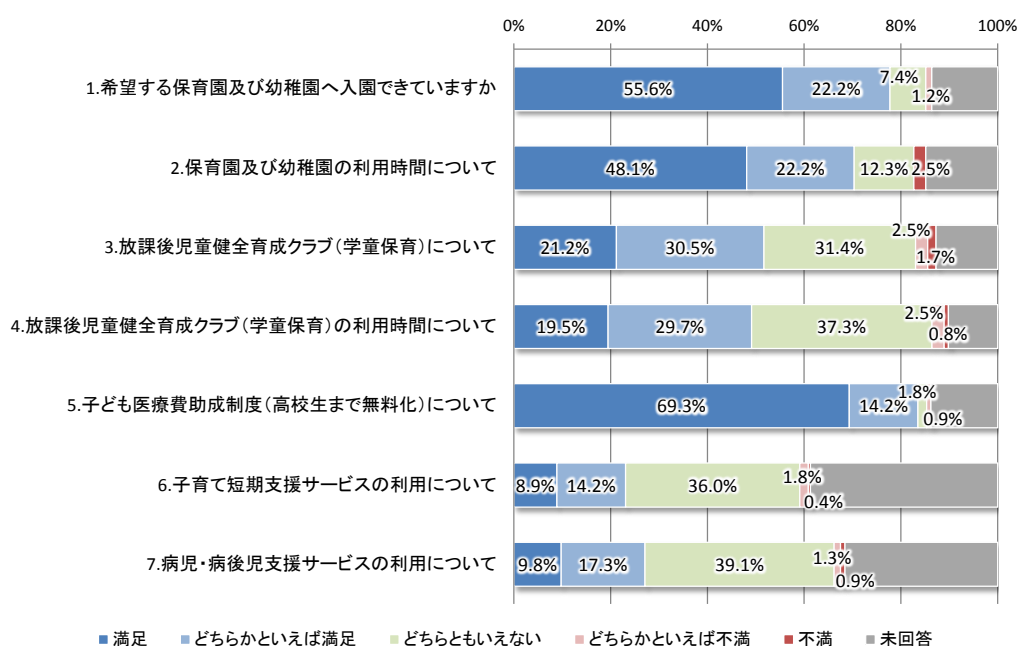


1-2-3 出産・結婚・子育てについて

(1) 仕事・子育て両立サポートについて

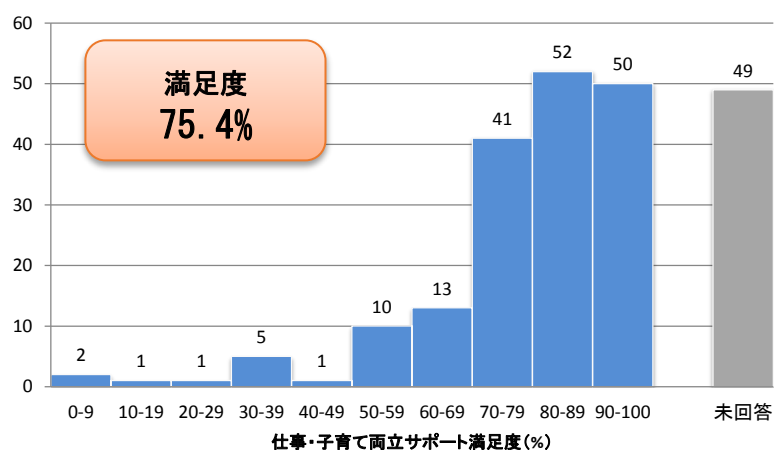
仕事・子育て両立サポート満足度に係る各項目の満足度をみると、最も満足度が高い（「満足」「どちらかといえば満足」）のは「子ども医療費助成制度（高校生まで無料化）」で 83.5% となった。その他「希望する保育園及び幼稚園への入園」「保育園及び幼稚園の利用時間」についても満足度が高い（図表 17）。

図表 17 「仕事・子育て両立サポート満足度」に関する項目別満足度



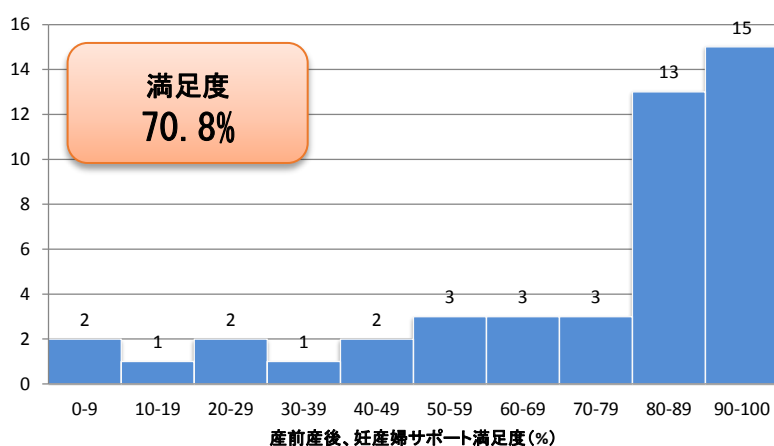
また、仕事・子育て両立サポート満足度を 0～100% で評価し、算出した満足度は 75.4% となった。満足度別の分布は以下の通り（図表 18）。

図表 18 「仕事・子育てサポート満足度」分布



さらに、産前産後ホームヘルプサービス、生後2ヶ月児訪問等の妊産婦に対するサポート満足度を0～100%で評価し、算出した満足度は70.8%となった。満足度別の分布は以下の通り（図表19）。

図表19 「産前産後・妊産婦サポート満足度」分布

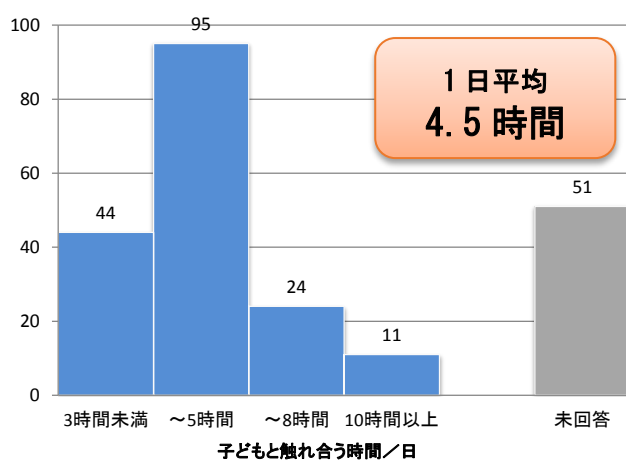


（2）子どもとの触れ合い、育児休暇の取得

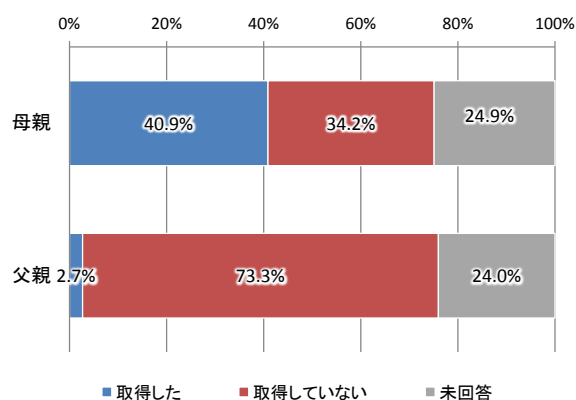
高校生以下の子どもがいる世帯に対し、1日のうち子どもと触れ合う時間を尋ねたところ、最も多いのが「3～5時間」で、平均値は4.5時間となった（図表20）。

また、子どもが生まれた際の育児休暇取得の有無については、母親で「取得した」との回答が40.9%と半数弱であるのに対し、父親で「取得した」と回答した割合は2.7%と低く、男女での差が顕著にみられる結果となった（図表21）。

図表20 「1日平均子どもと触れ合う時間」分布



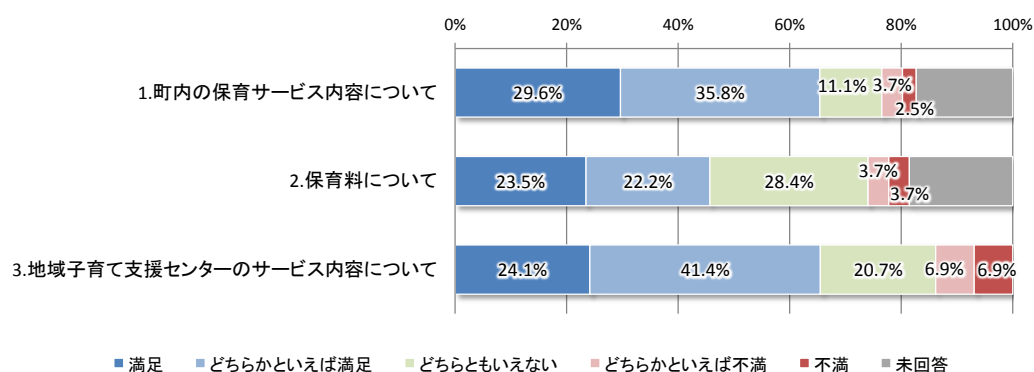
図表21 育児休暇取得の有無



（３）幼児に対する子育て環境

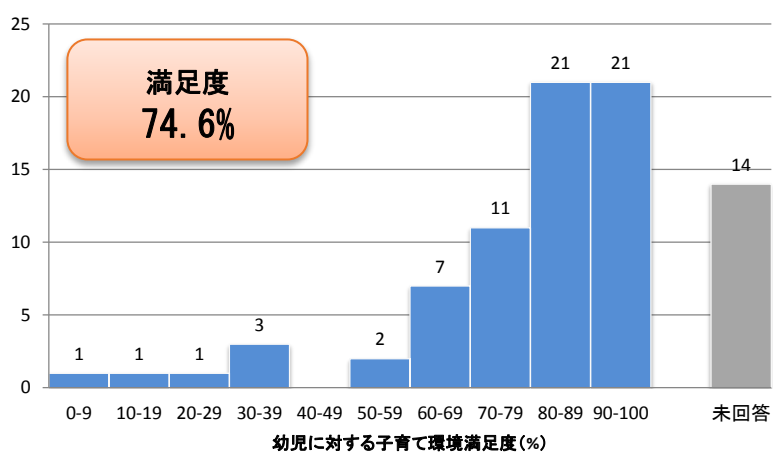
幼児に対する子育て環境満足度に係る各項目の満足度をみると、「地域子育て支援センターのサービス内容」について「満足」「どちらかといえば満足」と回答した割合は 65.5%、「町内の保育サービス内容」については 65.4%となった（図表 22）。

図表 22 「幼児に対する子育て環境満足度」に関する項目別満足度



また、幼児に対する子育て環境満足度を 0～100%で評価し、算出した満足度は 74.6%となった。満足度別の分布は以下の通り（図表 23）。

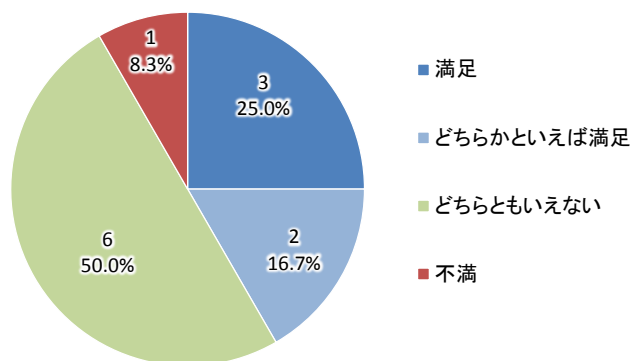
図表 23 「幼児に対する子育て環境満足度」分布



（４）障がいのある幼児へのサポート

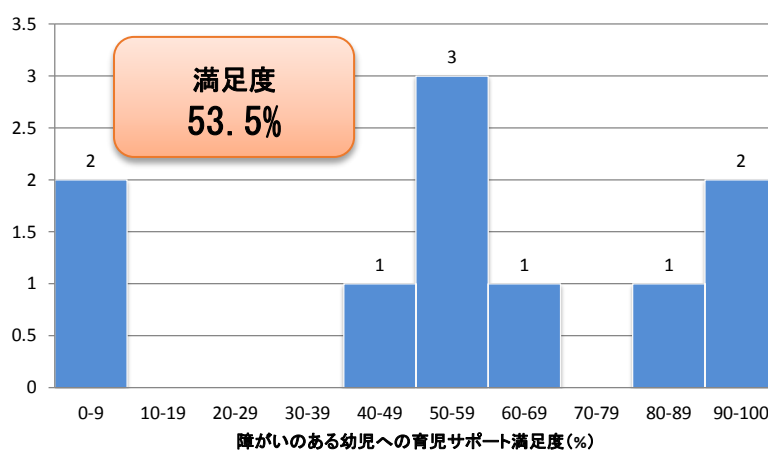
障がいのある幼児の育児サポート満足度に係る満足度（利用者のみ）をみると、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した割合は 41.7%となった（図表 24）。

図表 24 「障がいのある幼児の育児サポート満足度」に関する満足度



また、障がいのある幼児の育児サポート満足度を 0～100%で評価し、算出した満足度は 53.5%となった。満足度別の分布は以下の通り（図表 25）。

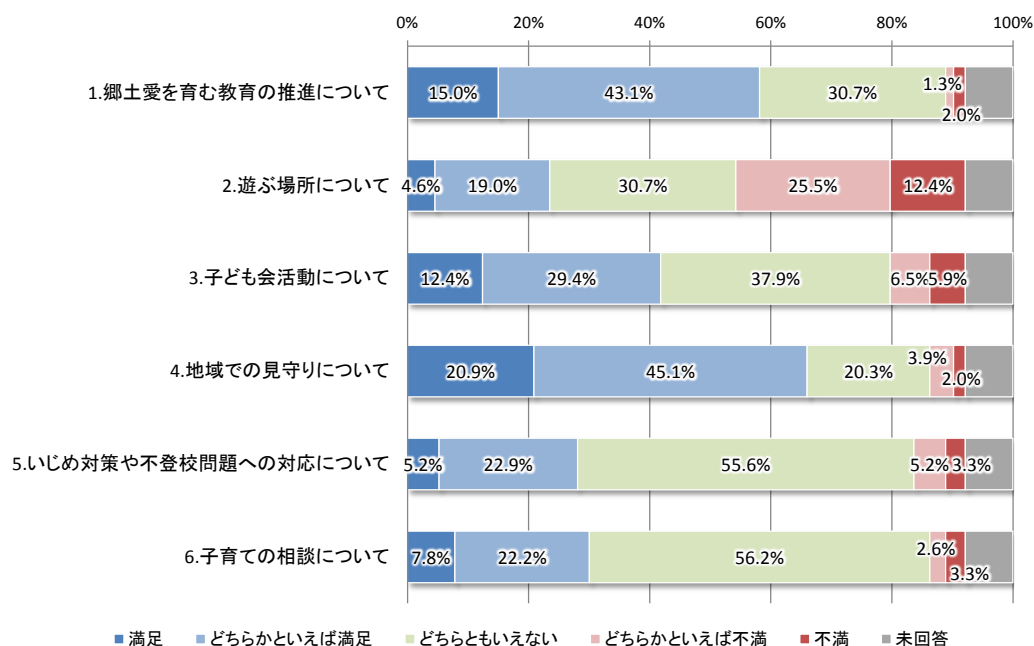
図表 25 「障がいのある幼児の育児サポート満足度」分布



（５）小中学生に対する子育て環境

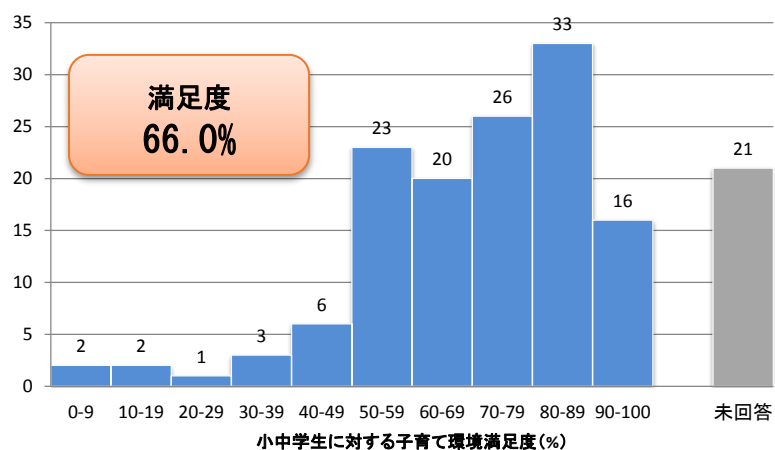
小中学生に対する子育て環境満足度に係る各項目の満足度をみると、最も満足度が高い（「満足」「どちらかといえば満足」）のは「地域での見守り」で 66.0%、ついで「郷土愛を育む教育の推進」が 58.1%となった。一方で、「遊ぶ場所」については「どちらかといえば不満」「不満」と回答した割合が 37.9%にのぼった（図表 26）。

図表 26 「小中学生に対する子育て環境満足度」に関する項目別満足度



また、小中学生に対する子育て環境満足度を 0～100%で評価し、算出した満足度は 66.0%となった。満足度別の分布は以下の通り（図表 27）。

図表 27 「小中学生に対する子育て環境満足度」分布



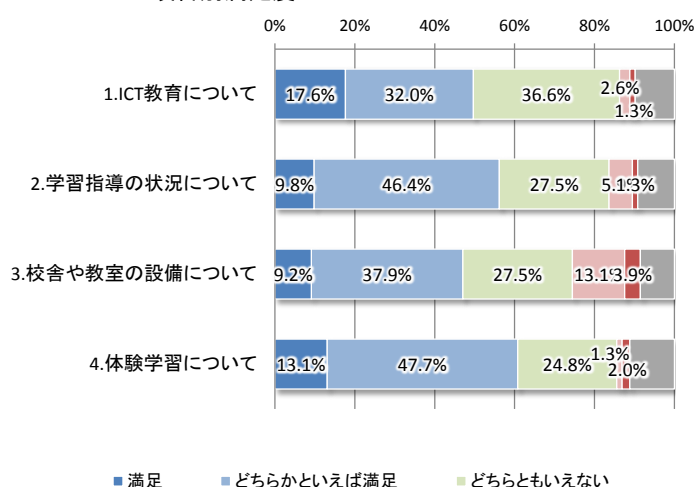
（６）小中学生に対する学習環境

小中学生に対する学習環境満足度に係る各項目の満足度をみると、最も満足度が高い（「満足」「どちらかといえば満足」）のは「体験学習」で 60.8% となった。一方で、「校舎や教室の設備」については「どちらかといえば不満」「不満」と回答した割合が 17.0% で最も高い（図表 28）。

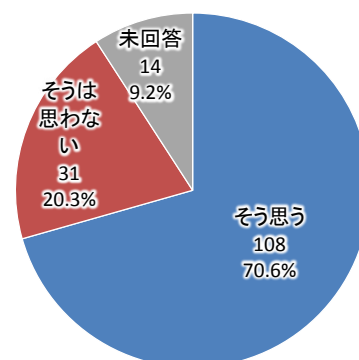
また、「地域とともにある学校づくり」が進んでいると思うかという問いに対し「そう思う」との回答は 7 割を超えた（図表 29）。

図表 28 「小中学生に対する学習環境満足度」に関する

項目別満足度

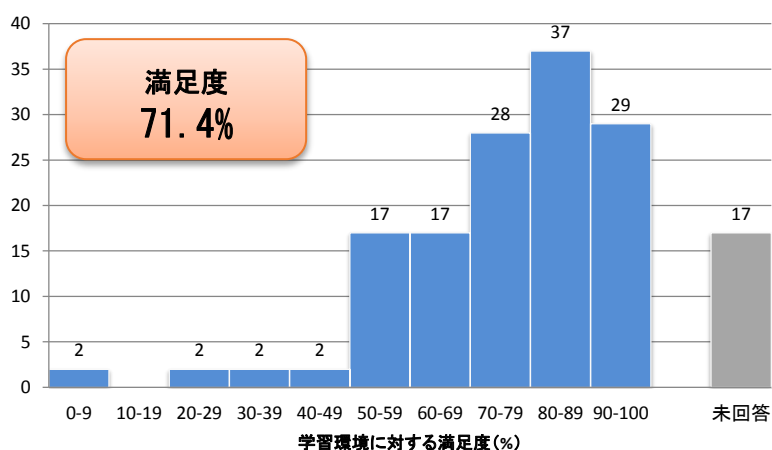


図表 29 「地域とともにある学校づくり」が進んでいると思うか



さらに、小中学生に対する学習環境満足度を 0～100% で評価し、算出した満足度は 71.4% となった。満足度別の分布は以下の通り（図表 30）。

図表 30 「小中学生に対する学習環境満足度」分布

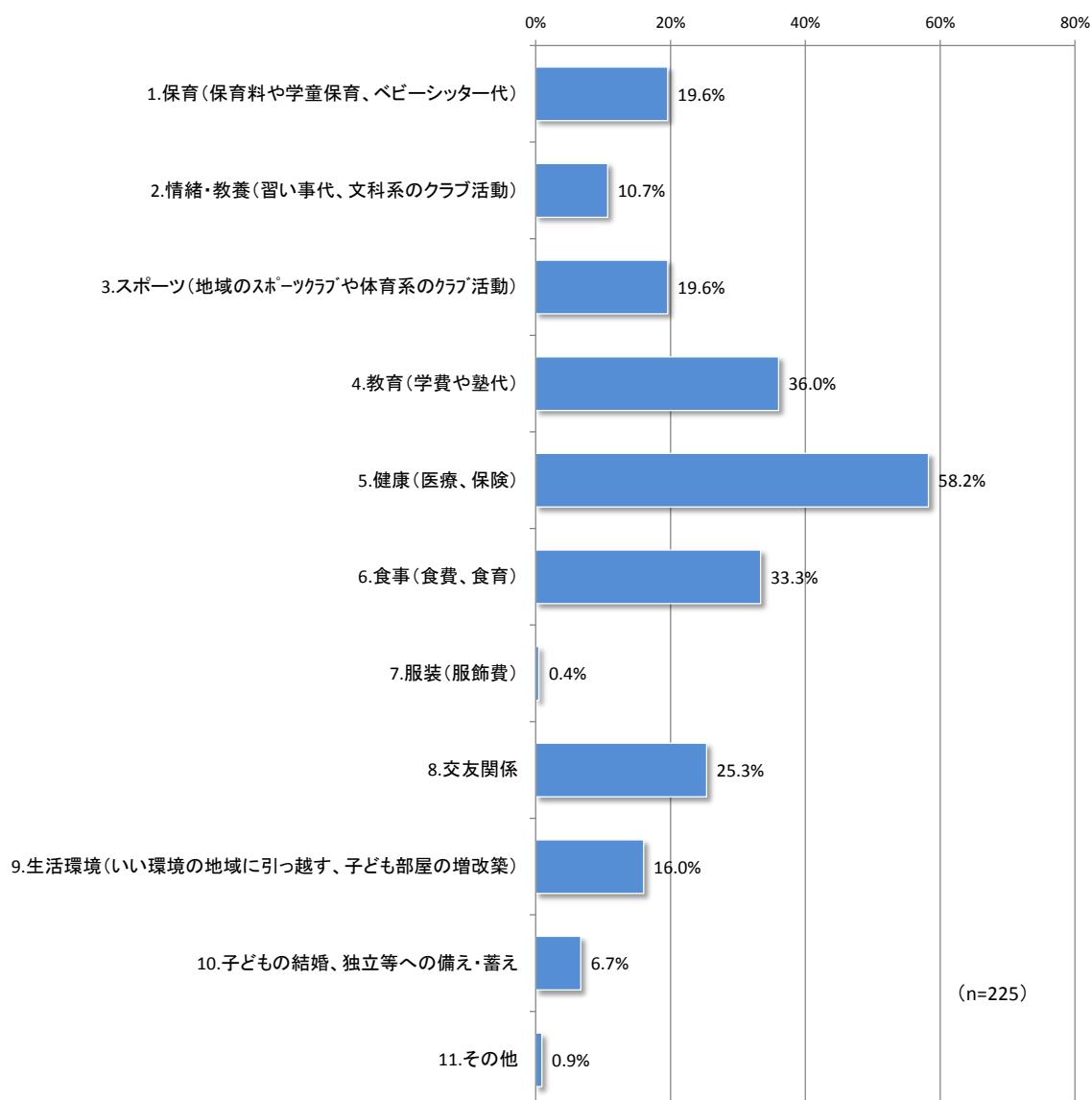


(7) 出産・子育て（育児）、仕事との両立について

子育て（育児）にとって重要だと思うことについて尋ねると、最も多かったのが「健康（医療、保険）」で 58.2%が重要であると回答した。ついで「教育（学費や塾代）」（36.0%）、「食事（食費、食育）」（33.3%）となった（図表 31）。

図表 31 子育てにとって重要なこと

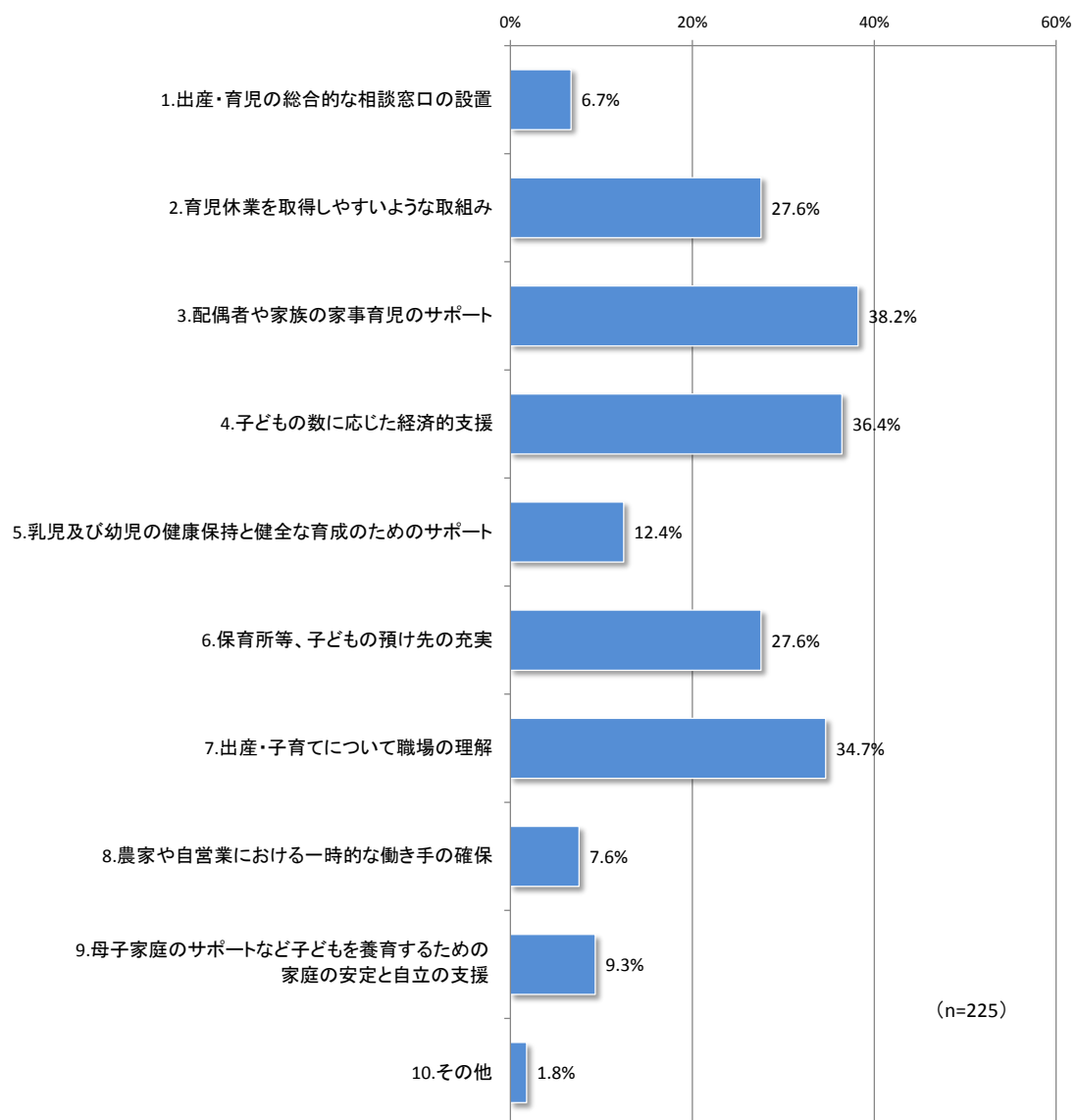
Q. 子育て（育児）にとって重要だと思うことは何ですか（複数回答可）。



出産・子育て（育児）と仕事を両立するために必要な取組みとして、最も回答が多かったのは「配偶者や家族の家事育児のサポート」で 38.2% となった。男性の育児への積極的な参画や、家族・コミュニティでの相互サポートが重要であると思われる。以下、「子どもの数に応じた経済的支援」(36.4%)、「出産・子育てについて職場の理解」(34.7%)と続いた（図表 33）。

図表 33 出産・子育て（育児）と仕事の両立に重要なこと

Q. 出産・子育て（育児）と仕事を両立するために必要な取組みは何だと思いますか。
（複数回答可）。

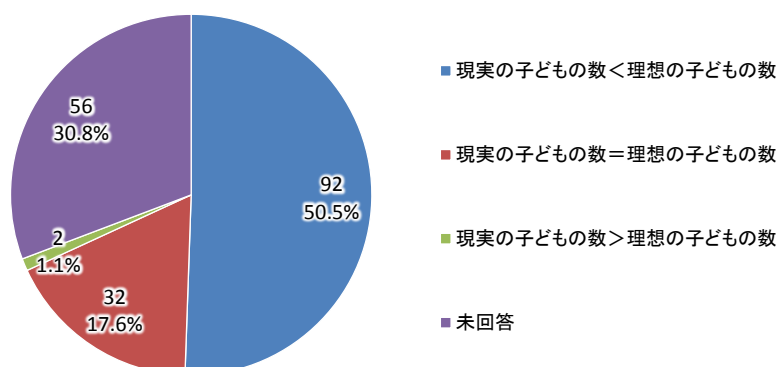


（８）女性の出産意向

20代～50代の女性を対象に、出産意向等について尋ねた。

現在の18歳以下の子どもの数と理想の子どもの数を尋ね、理想と現実との乖離を調査した。「現実の子どもの数＜理想の子どもの数」と回答した割合が半数を超え、50.5%となった。一方で「現実の子どもの数＞理想の子どもの数」の回答は1.1%にとどまる（図表34）。

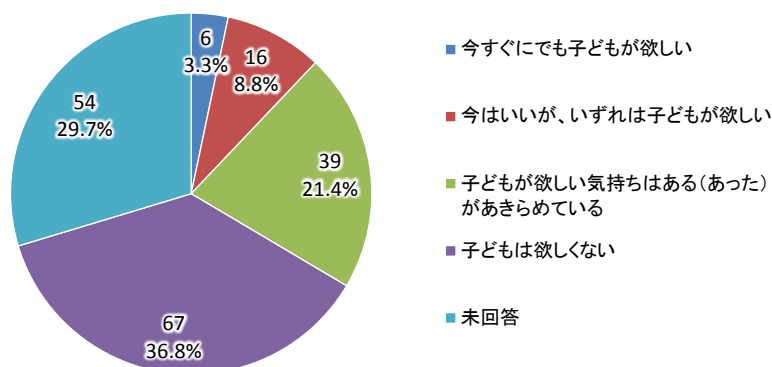
図表 34 現実と理想の子どもの数



今後の出産意向については、「子どもは欲しくない」との回答が最も多く、36.8%となった。また、「子どもが欲しい気持ちはある（あった）があきらめている」が21.4%と、出産を希望しない割合が半数を超え58.2%を占める。一方で「今すぐにでも子どもが欲しい」（3.3%）、「今はいいが、いずれは子どもが欲しい」（8.8%）と出産意向のある割合は12.1%にとどまる（図表35）。

図表 35 今後の出産意向

Q. 今後、子どもが欲しいと思いますか。

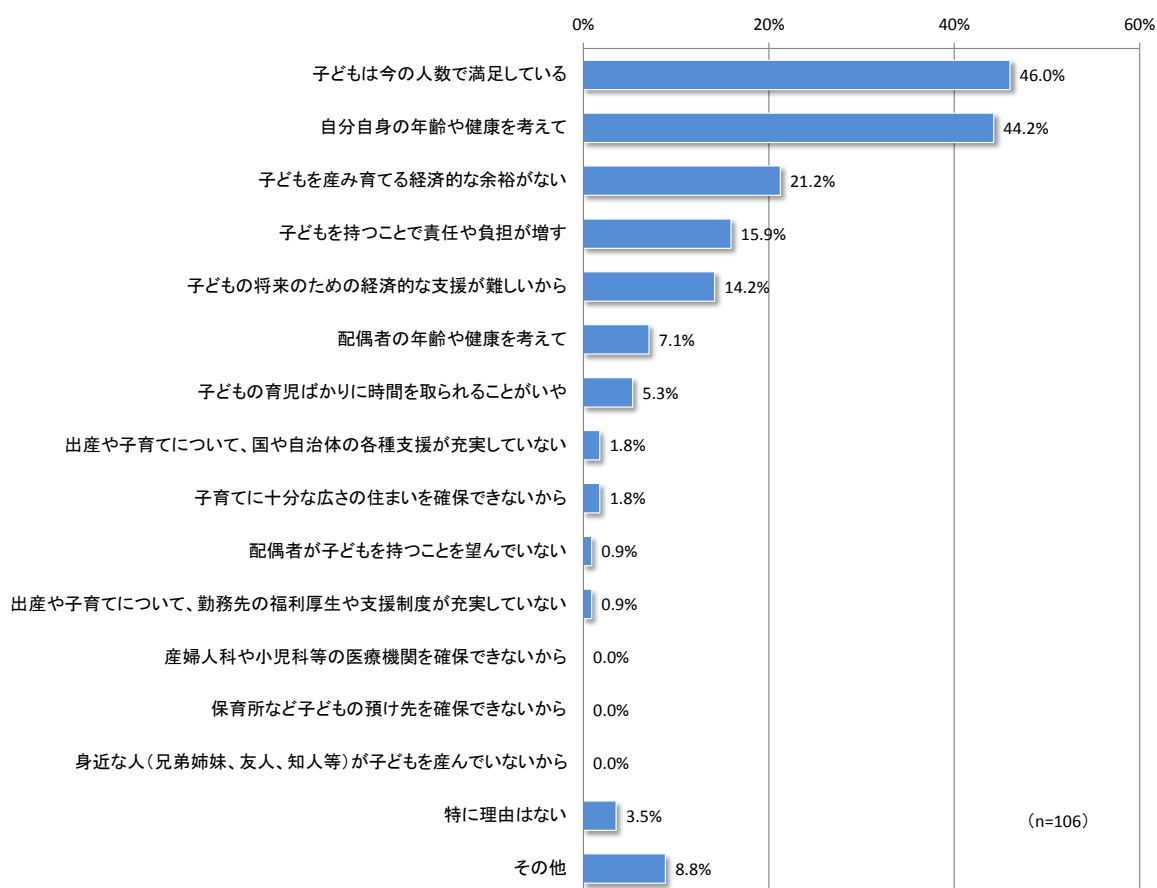


「子どもが欲しい気持ちがある（あった）があきらめている」「子どもは欲しくない」と回答した人に対し、その理由を尋ねた結果は以下の通り。

最も多かった回答は「子どもは今の人数で満足している」で 46.0%、ついで「自分自身の年齢や健康を考えて」（44.2%）となった。また「子どもを産み育てる経済的な余裕がない」が 3 番目に多く、経済面も少子化の一つの壁となっていることがうかがえる（図表 36）。

図表 36 出産意向のない理由

Q.（「子どもが欲しい気持ちがある（あった）があきらめている」「子どもは欲しくない」と回答した方のみ）その理由はなんですか（複数回答可）。



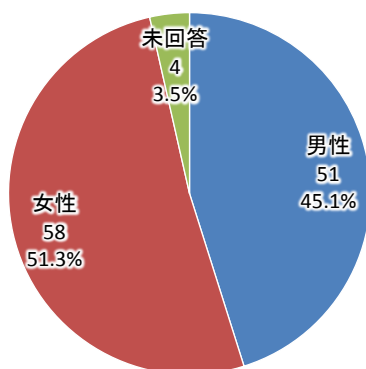
(9) 結婚意向

18 歳以上の未婚の方を対象に、結婚意向について尋ねた。

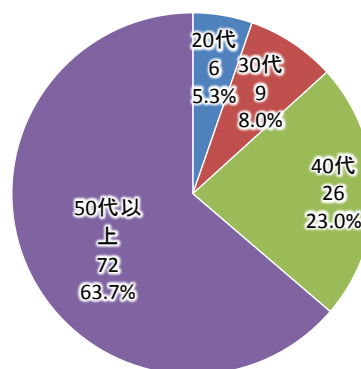
未婚者の性別をみると、「男性」が 45.1%、「女性」が 51.3%となっている（図表 37）。

また、年齢別にみると、「50 代以上」が最も多く 63.7%、ついで「40 代」（23.0%）となっている（図表 38）。

図表 37 未婚者の性別



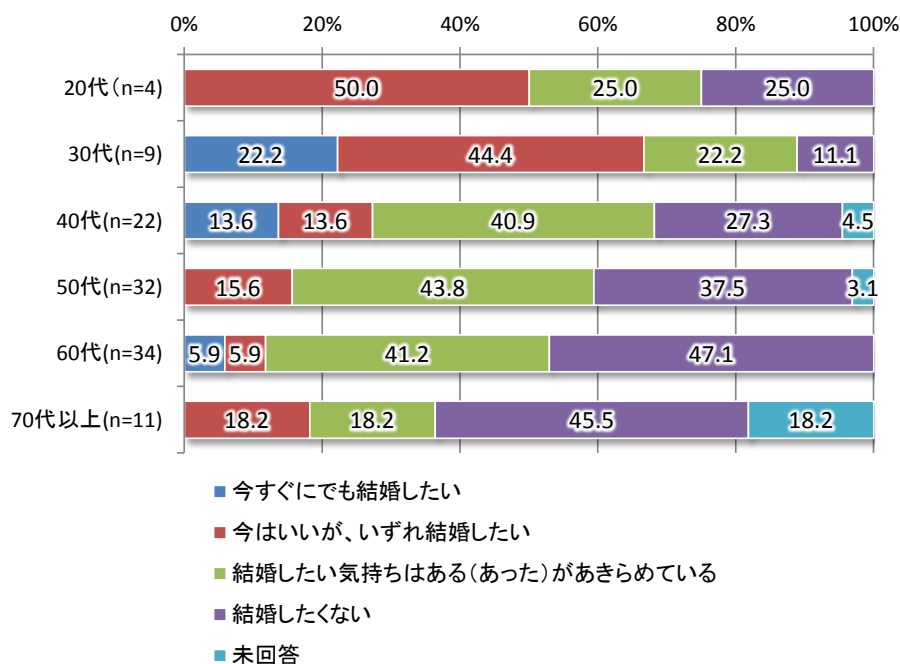
図表 38 未婚者の年齢



今後の結婚意向について年代別にみると、年代が上がるにつれて「結婚したい気持ちはある（あった）があきらめている」「結婚したくない」の回答比率が高くなっていることがわかる（図表 39）。

図表 39 未婚者の結婚意向（年代別）

Q. あなたは結婚したいと思いますか。

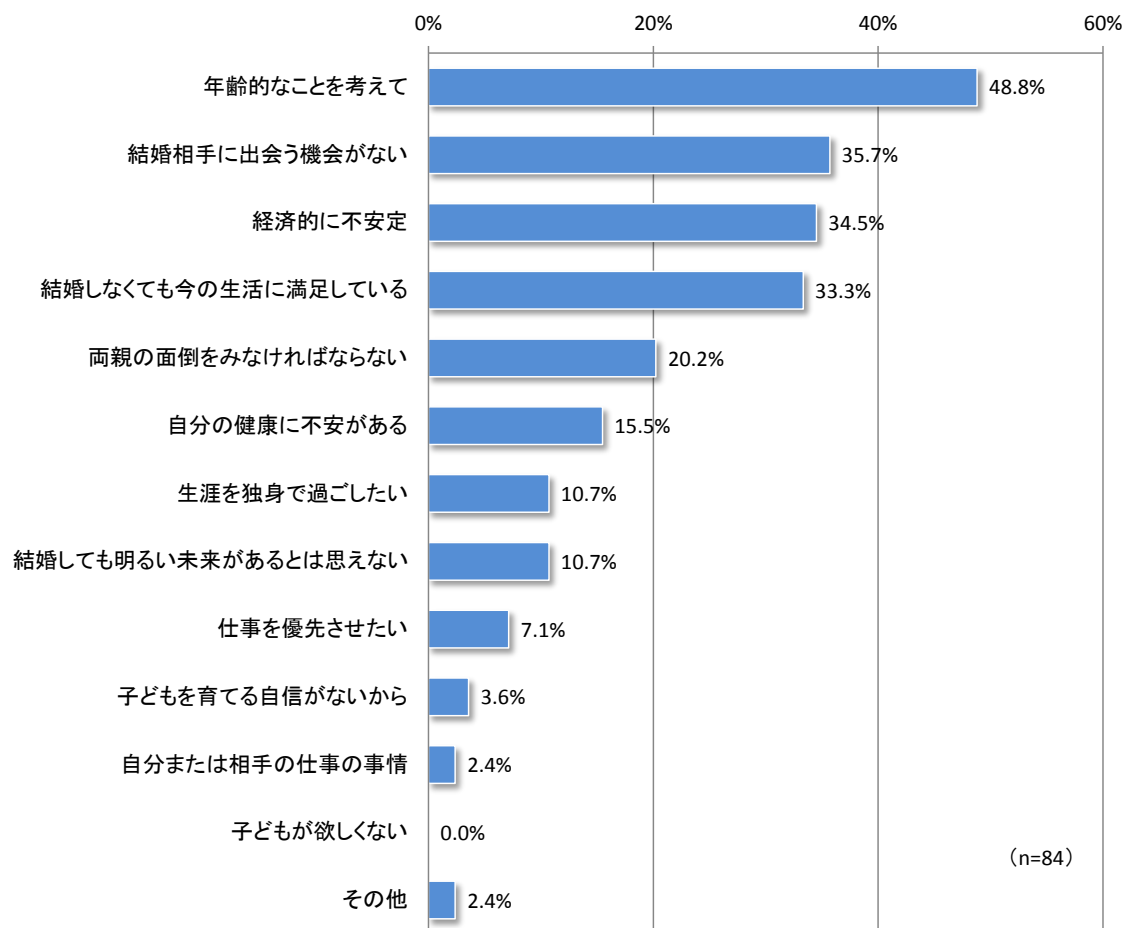


「結婚したい気持ちがある（あった）があきらめている」「結婚したくない」と回答した人に対し、その理由を尋ねた結果は以下の通り。

もっとも多かった回答は「年齢的なことを考えて」で 48.8%、ついで「結婚相手に出会う機会がない」（35.7%）、「経済的に不安定」（34.5%）となった（図表 40）。

図表 40 結婚意向のない理由

Q.（「結婚したい気持ちがある（あった）があきらめている」「結婚したくない」と回答した方のみ）その理由はなんですか（複数回答可）。



1-2-4 氷川町への転入及び氷川町からの転出

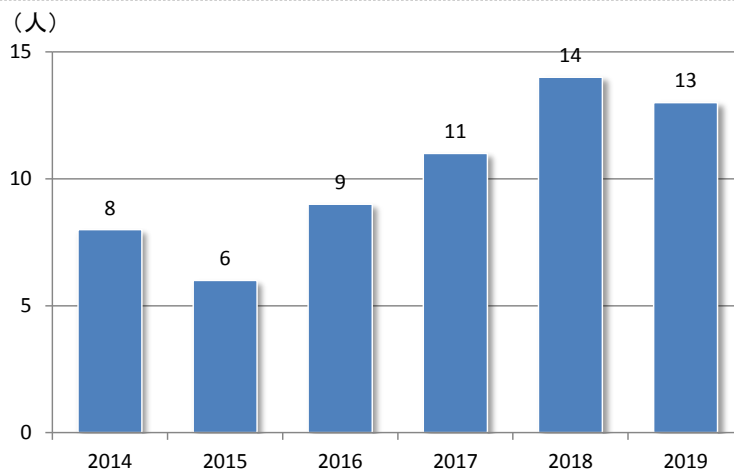
(1) 氷川町への転入時期と転入前の市町村

2014 年以降に氷川町へ転入してきた世帯を対象に、転入時期について尋ねた。

2015 年以降、転入世帯は増加傾向にあることがうかがえる（図表 41）。

図表 41 氷川町への転入時期（2014 年以降）

Q. いつ氷川町へ転入されましたか。

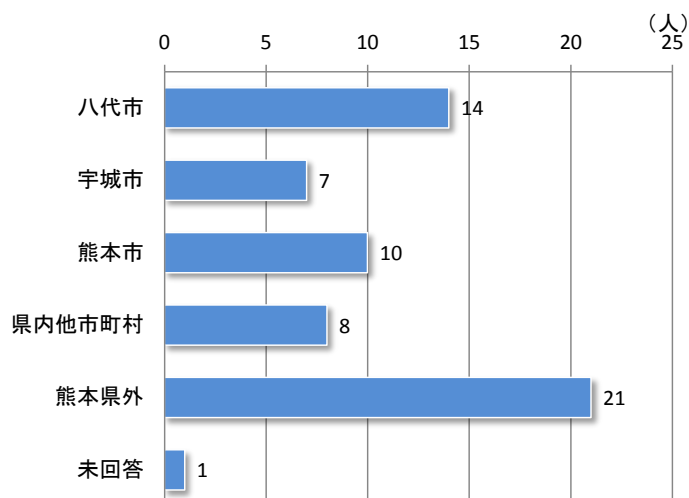


また、氷川町へ転入する前の居住地をみると、最も多いのは「熊本県外」で 21 人となっており、内訳をみると千葉県 4 人、神奈川県 3 人、東京都 2 人と関東圏からの移住が多い。

ついで「八代市」（14 人）、「熊本市」（10 人）となっている。県内他市町村からの転入では天草市、宇土市、人吉市などの回答が見られた（図表 42）。

図表 42 氷川町へ転入する前の居住地

Q. どちらから転入されましたか。

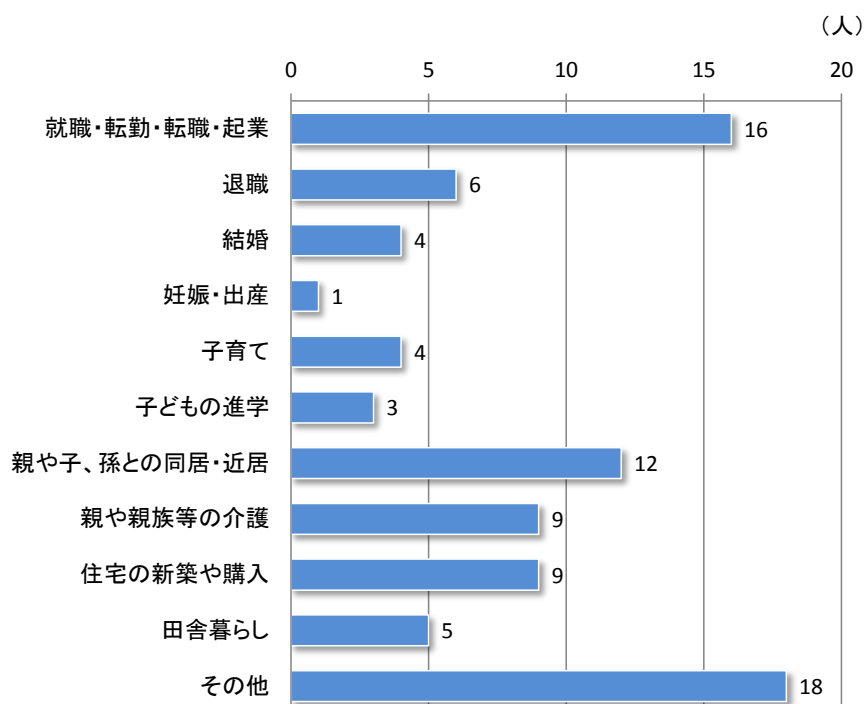


（２）氷川町への転入きっかけと選択理由

氷川町への転入するきっかけとして最も多かったのが、「就職・転勤・転職・起業」で16人、ついで「親や子、孫との同居・近居」（12人）、「親や親族等の介護」（9人）、「住宅の新築や購入」（9人）となった（図表43）。

図表 43 氷川町への転入のきっかけ

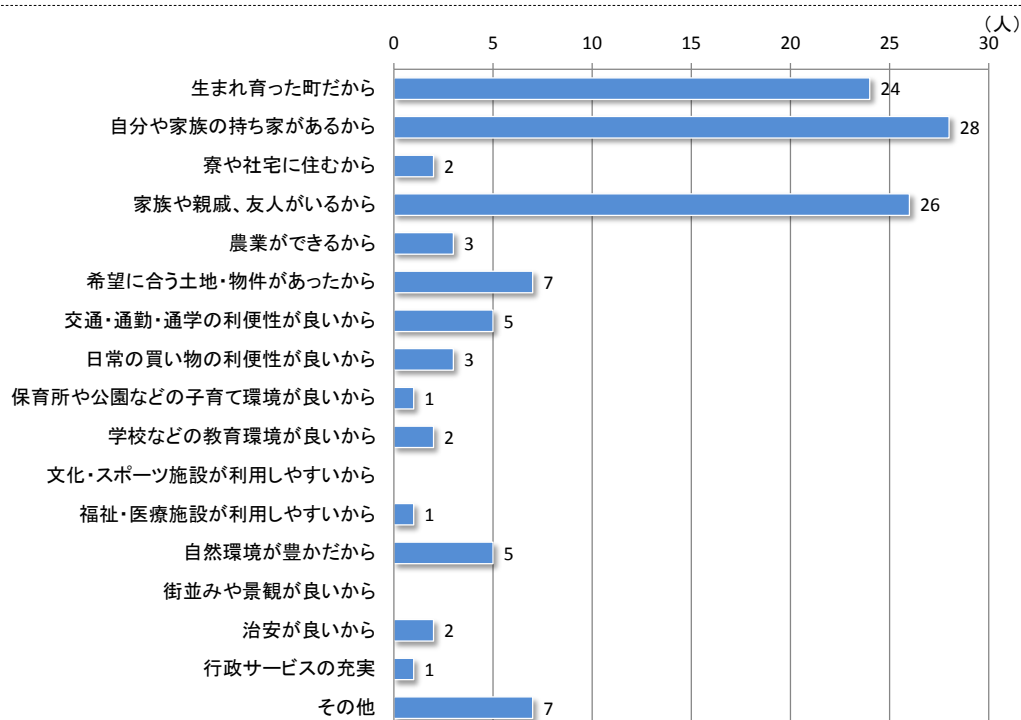
Q. 転入するきっかけは何でしたか（複数回答可）。



氷川町へ転入するにあたり、氷川町を選んだ理由について尋ねると、最も多いのが「自分や家族の持ち家があるから」で 28 人、ついで「家族や親戚、友人がいるから」(26 人)、「生まれ育った町だから」(24 人) となり、氷川町に何かしらの繋がり・縁を持っていることが転入先として氷川町を選ぶ大きな理由となっていることが分かる (図表 44)。

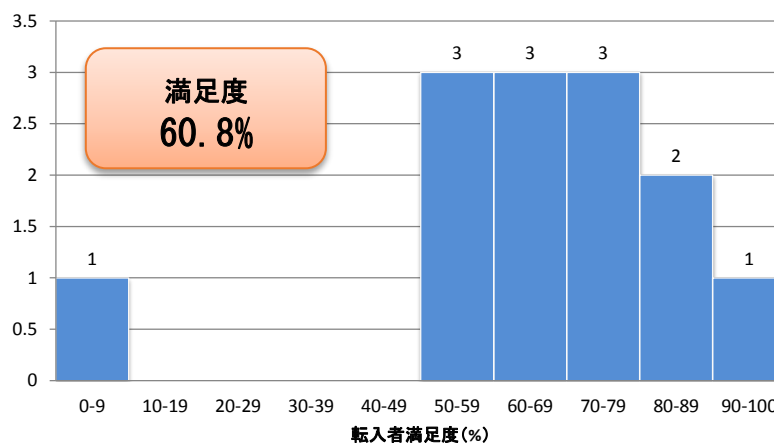
図表 44 氷川町を選んだ理由

Q. 氷川町を選んだ理由は何ですか (複数回答可)。



さらに、転入者満足度を 0～100% で評価し、算出した満足度は 60.8% となった。満足度別の分布は以下の通り (図表 45)。

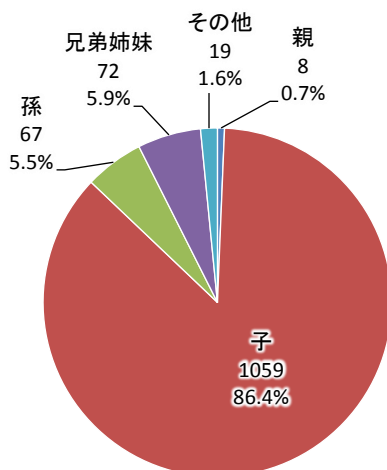
図表 45 「転入者満足度」分布



（３）町外へ転出した世帯員について

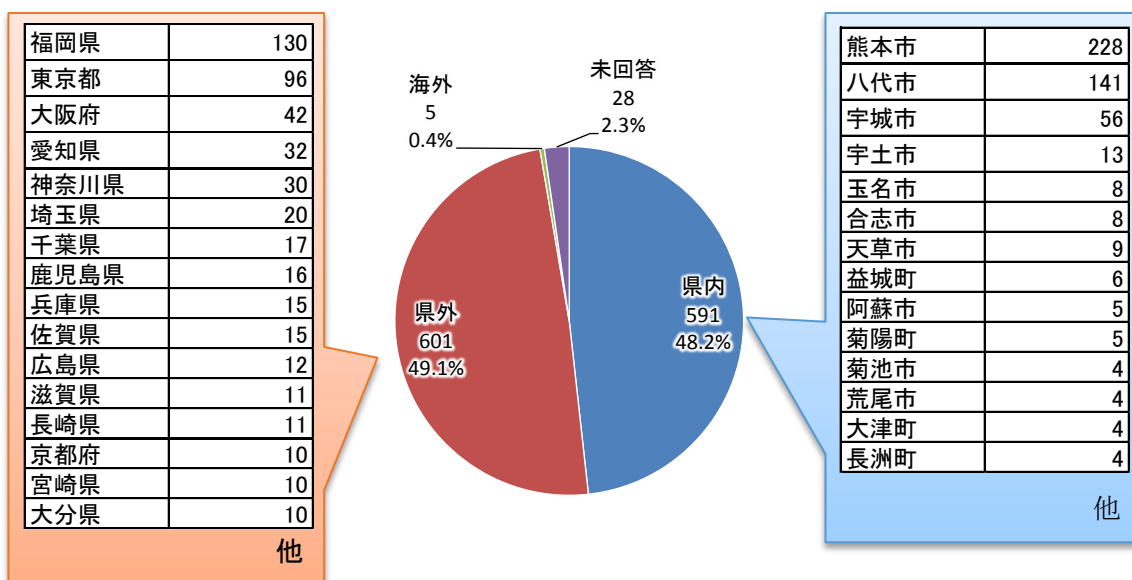
調査票によって把握できた氷川町外へ転出した世帯員の人数は 1,225 人となった。世帯主との続柄をみると、「子」が 86.4%で大半を占める結果となった（図表 46）。

図表 46 町外転出者の世帯主との続柄



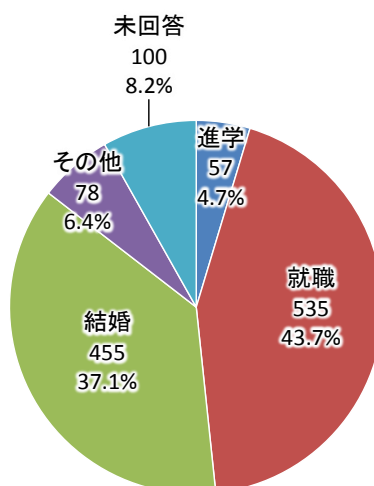
氷川町外へ転出した世帯員の現在の居住地（転出先）をみると、「熊本県内」が 48.2%、「熊本県外」が 49.1%となった。熊本県内の市町村をみると、熊本市が最も多く 228 人、ついで八代市（141 人）、宇城市（56 人）と近隣市町村への転出が多いことが分かる。また、熊本県外の転出先として最も多いのが福岡県で 130 人、ついで東京都（96 人）、大阪府（42 人）と首都圏への転出が目立つ（図表 47）。

図表 47 町外転出者の転出先



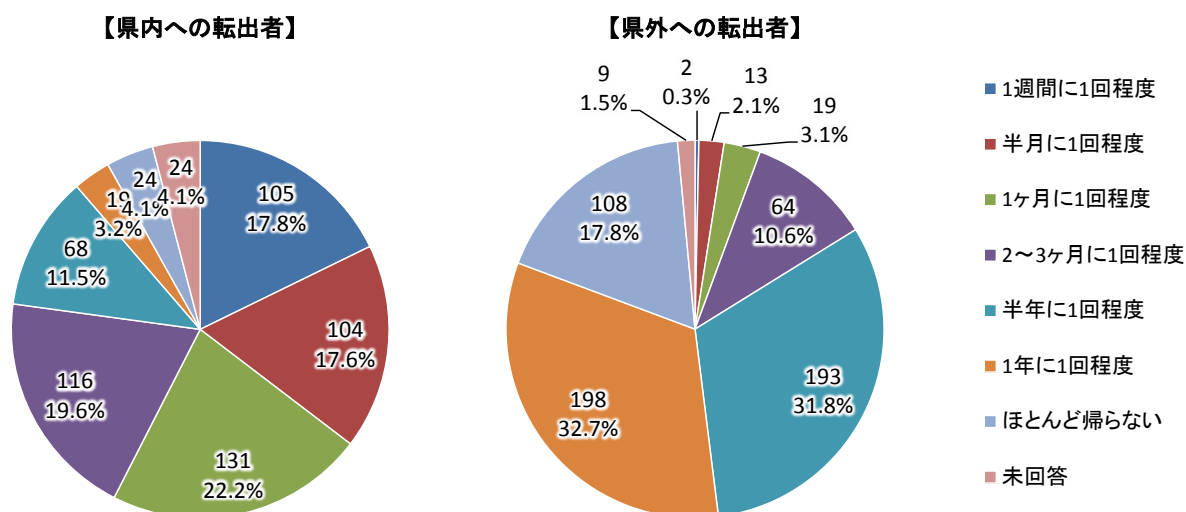
町外へ転出した世帯員の転出の理由をみると、最も多いのが「就職」で43.7%、ついで「結婚」が37.1%となった。ライフステージが変わるタイミングで町外への転出が起きていることが分かる（図表48）。

図表48 町外転出者の転出理由



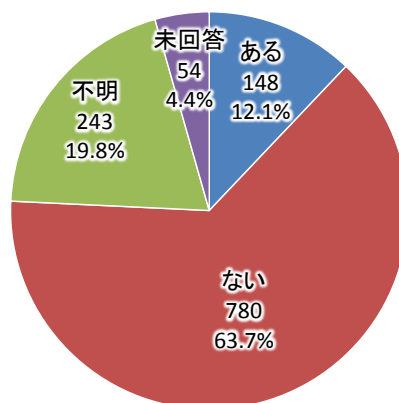
転出した世帯員の氷川町への帰省頻度を県内への転出者、県外への転出者別にみると、県内への転出者は「2～3ヶ月に1回以上」の頻度での帰省が77.2%となっているが、県外への転出者は最も多いのが「1年に1回程度」で32.7%、ついで「半年に1回程度」（31.8%）となっており、帰省頻度は低い。県外への転出者の中には「ほとんど帰らない」との回答も17.8%あった（図表49）。

図表49 町外転出者の帰省頻度



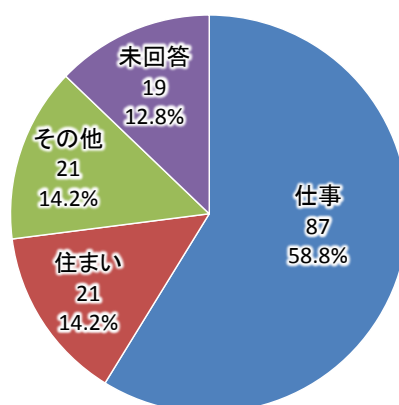
町外への転出者について、今後氷川町への U ターンの可能性があるか尋ねたところ、「ない」との回答が最も多く、63.7%となった。一方、「ある」と回答したのは 12.1% (図表 50)。

図表 50 町外転出者の U ターン可能性



さらに、氷川町へ U ターンをすると考えた場合、何があれば U ターンできるかという問いに対し、最も多かったのが「仕事」で 58.8%と半数以上が働く場所が重要であると考えていることが分かる。(図表 51)。

図表 51 U ターンするために必要なこと



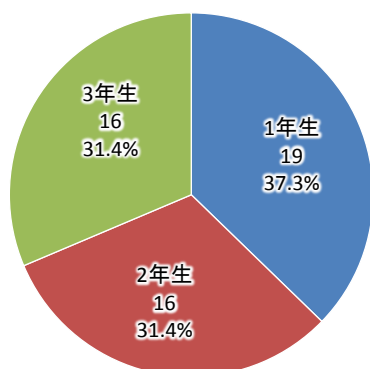
1-2-5 高校生アンケート

(1) 学年と性別

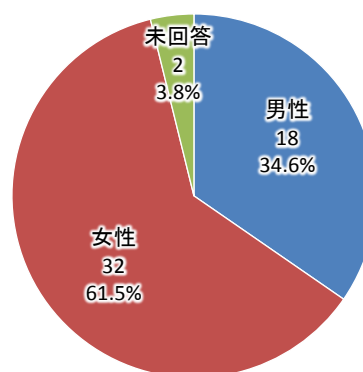
今回の調査において、回答のあった高校生の学年をみると「1年生」37.3%、「2年生」31.4%、「3年生」31.4%と、概ね同比率になっている（図表 52）。

また、性別は「男性」34.6%、「女性」61.5%で女子生徒からの回答が多い（図表 53）。

図表 52 学年（高校〇年生）



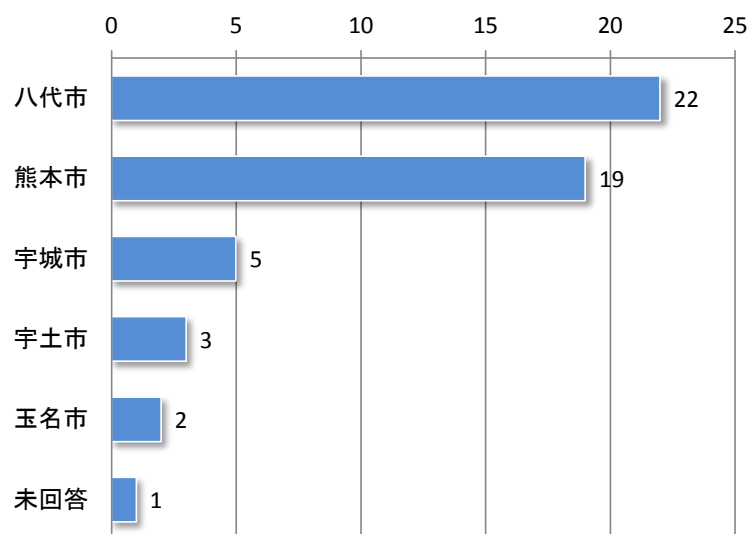
図表 53 性別



(2) 高校の所在地

氷川町内には高等学校がないため、町内に住む高校生は全て町外の高校へ通う必要がある。最も多い回答が「八代市」（22人）で、ついで「熊本市」（19人）となった（図表 54）。

図表 54 町内の高校生が通う高校の所在地

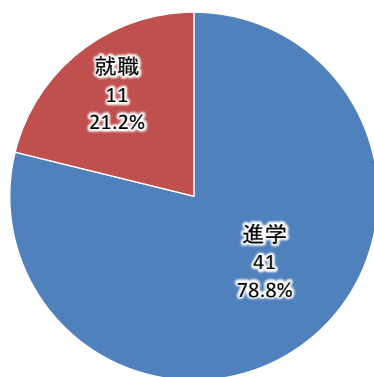


（３）卒業後の進路

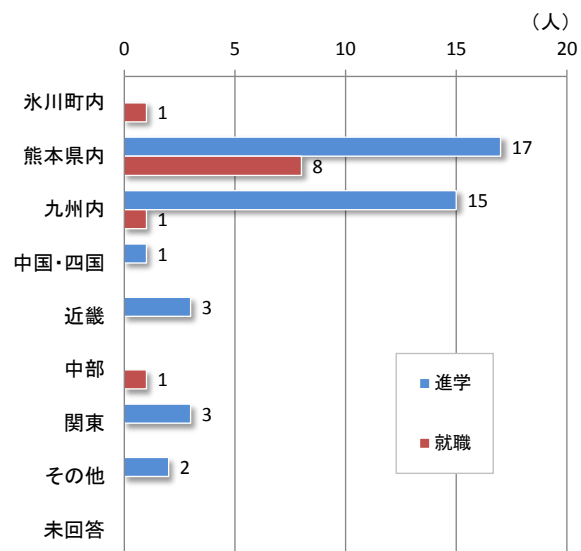
卒業後の進路については、78.8%が「進学」、21.2%が「就職」と回答（図表 55）。

また、進路・就職の希望地についてみると、進学先、就職先ともに「熊本県内」が最も多い。また、進学先としては「九州内」も同様に多く、近畿や関東といった首都圏への希望もある（図表 56）。

図表 55 卒業後の進路



図表 56 希望進学・就職地

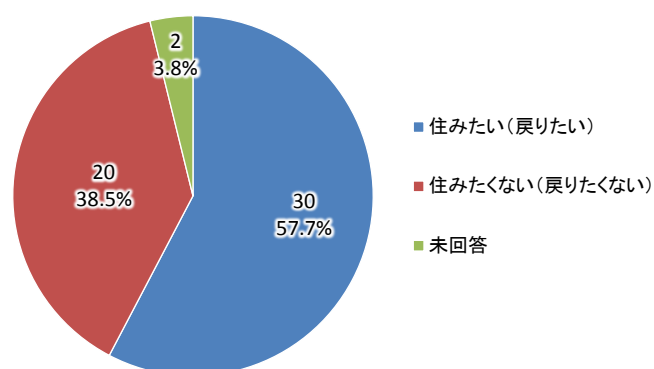


（４）氷川町への将来の居住意向

将来の氷川町への居住意向を見ると、半数以上の 57.7%が「住みたい（戻りたい）」と回答しており、高校生の U ターン意向は比較的強いことがうかがえる（図表 57）。

図表 57 将来の氷川町への居住意向

Q. 将来、氷川町に（戻って）住みたいですか。

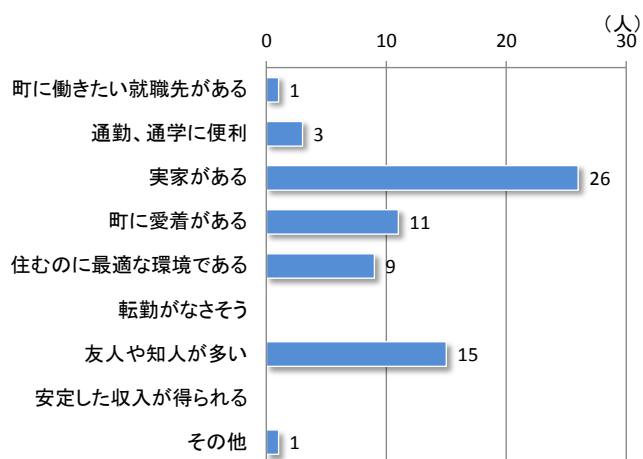


さらに、将来氷川町に「住みたい（戻りたい）」「住みたくない（戻りたくない）」理由をそれぞれ見ると以下の通り。

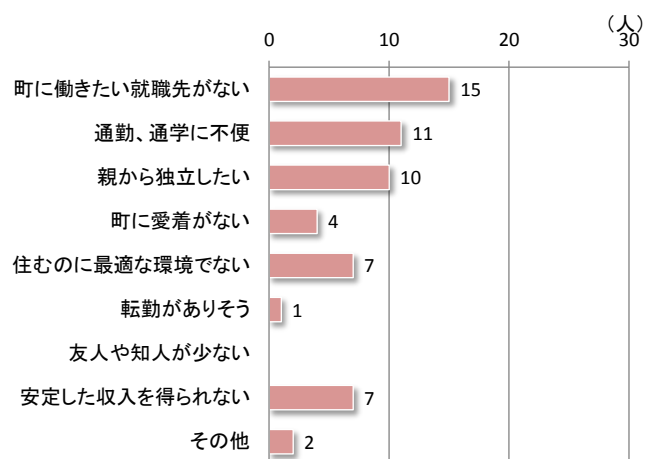
「住みたい（戻りたい）」理由として最も多いのが、「実家がある」で 26 人、ついで「友人や知人が多い」で 15 人となった。また、「町に愛着がある」も 11 人となっており、郷土愛が将来の定住意向に繋がる可能性もある（図表 58）。

一方で、「住みたくない（戻りたくない）」理由として最も多いのが「町に働きたい就職先がない」で 15 人、「安定した収入を得られない」が 7 人と、働く場所と所得が壁の一つとなっていることがうかがえる（図表 59）。

図表 58 「住みたい（戻りたい）」理由



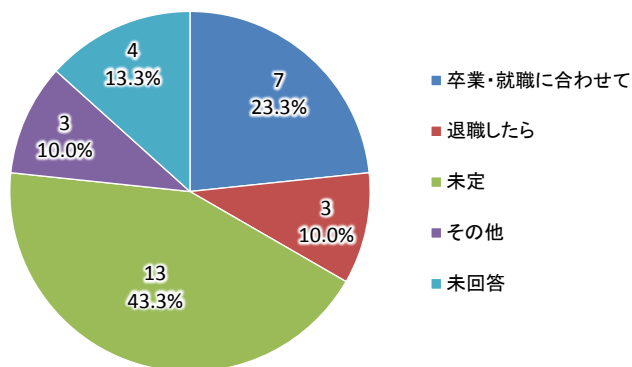
図表 59 「住みたくない（戻りたくない）」理由



また、将来「住みたい（戻りたい）」と回答した生徒に対し、その時期について尋ねたところ、最も多いのは「未定」で 43.3%であったが、ついで「卒業・就職に合わせて」が 23.3%、「退職したら」10.0%となった（図表 60）。

図表 60 氷川町へ戻る時期

Q.（「住みたい（戻りたい）」と回答した方のみ）戻る時期はいつ頃ですか。

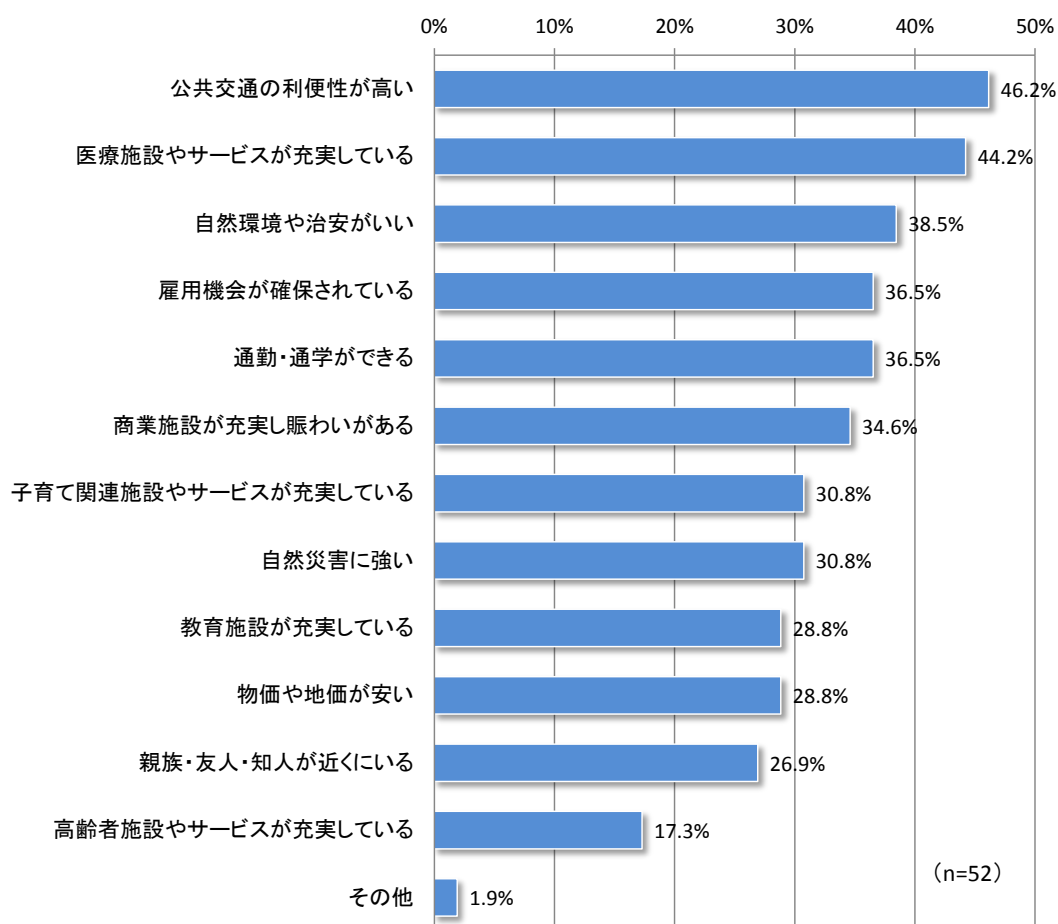


（５）氷川町定住のために必要なこと

高校生が考える氷川町定住に向けて必要なこととして、最も多かったのが「公共交通の利便性が高い」で 46.2%となった。ついで「医療施設やサービスが充実している」(44.2%)、「自然環境や治安がいい」(38.5%)。また、「雇用機会が確保されている」も 36.5%で、若者が働く場所の創出も課題の一つと考えられる（図表 61）。

図表 61 氷川町定住に必要なこと

Q. 氷川町に定住するために必要なことは何だと考えますか（複数回答可）。



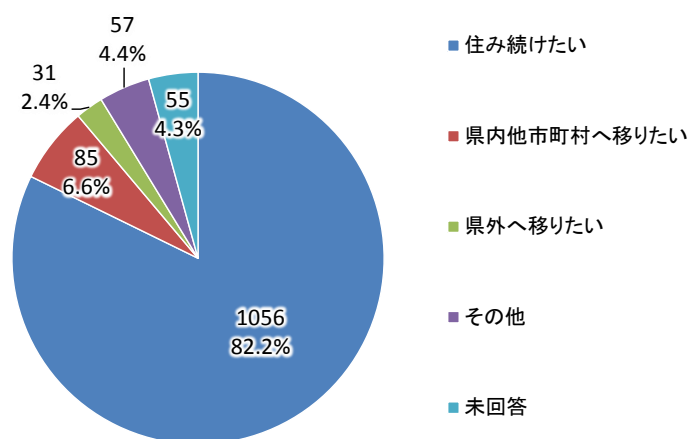
1-2-6 今後の氷川町について

(1) 定住意向

今後の氷川町への定住意向をみると、「住み続けたい」が最も多く、82.2%と高い。「県内他市町村へ移りたい」が6.6%、「県外へ移りたい」が2.4%あった（図表 62）。

図表 62 氷川町への定住意向

Q. これからも氷川町に住み続けたいですか。

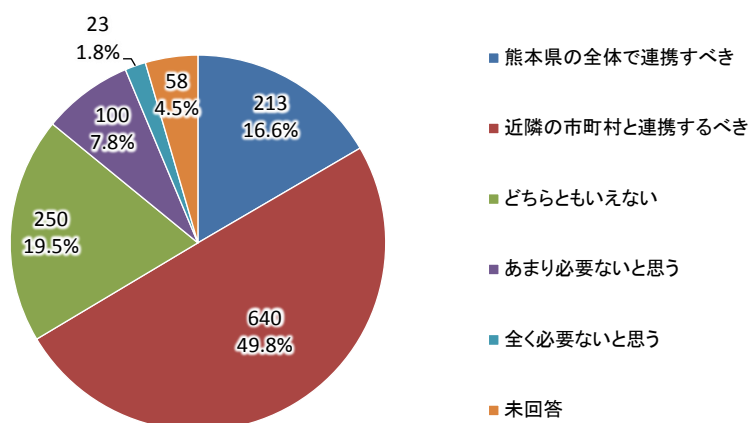


(2) 他市町村との連携（広域連携）

他市町村との連携について、「熊本県の全体で連携すべき」「近隣の市町村と連携すべき」が66.4%で、広域連携に対する意向は比較的強い。連携は必要ないとの回答は全体の約1割程度（図表 63）。

図表 63 他市町村との連携について

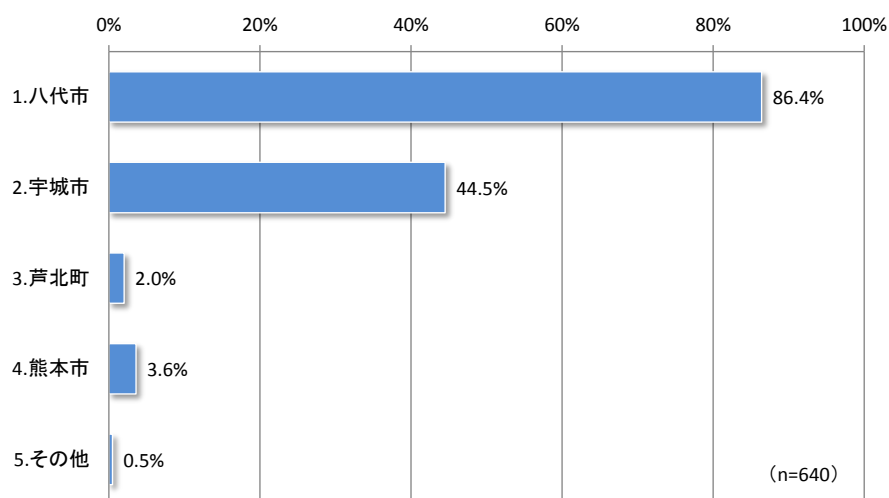
Q. 氷川町が他市町村と連携して、地域の魅力発信、地域経済の活性化、定住促進などに取組むことについてどう感じますか。



また、「連携すべき」と回答した人に対し、特にどこの市町村と連携すべきかを尋ねたところ、最も多かったのは隣接する「八代市」で 86.4%が連携先として回答した。そして、隣接する「宇城市」が 44.5%と続いた（図表 64）。

図表 64 連携すべき市町村

Q.（連携すべき」と回答した方のみ）特にどこの市町村と連携すべきだと思いますか（複数回答可）。

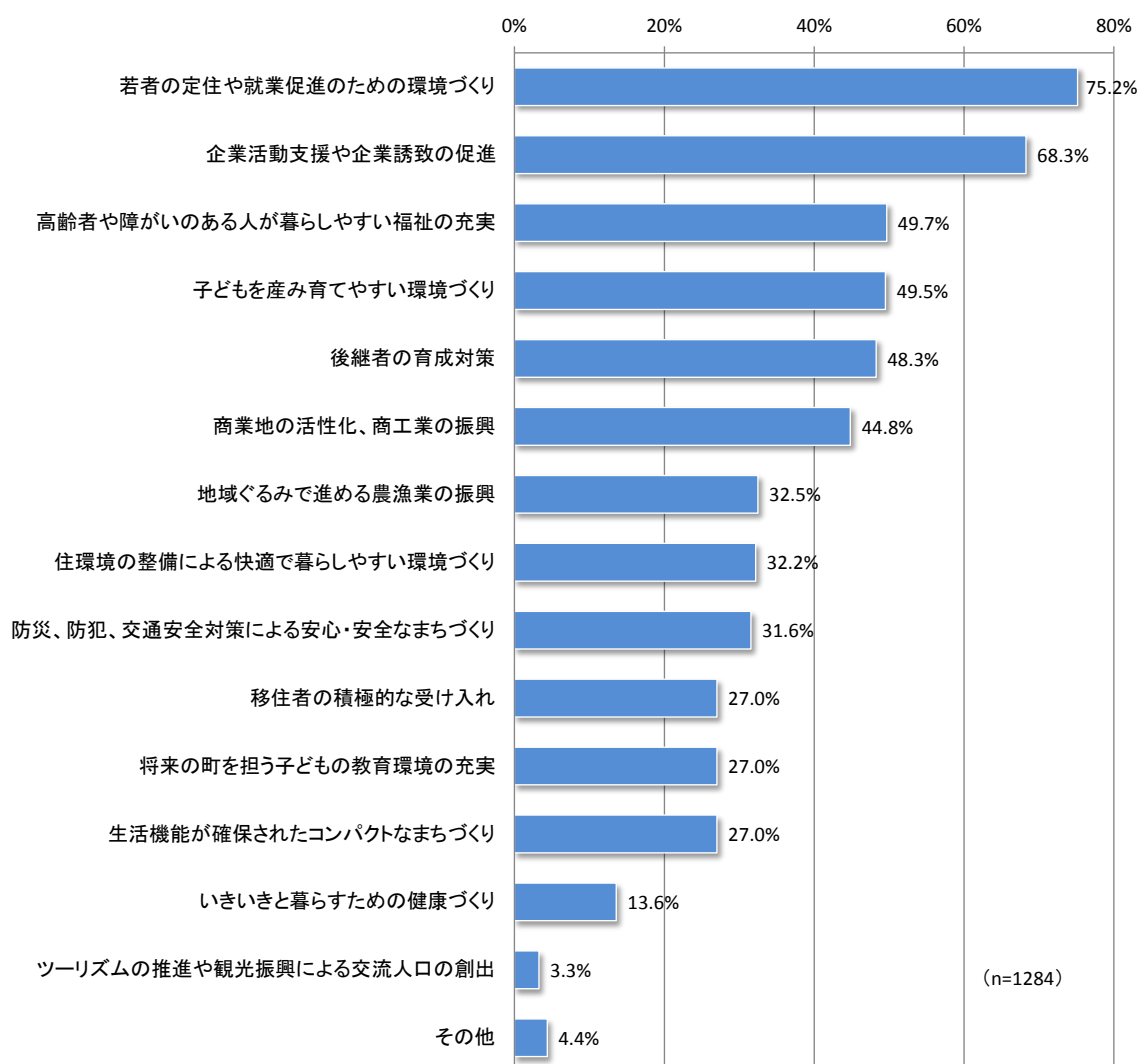


（３）人口減少対策、地方創生への取組

今後、重要な取組みとして最も多かったのは「若者の定住や就業促進のための環境づくり」で 75.2%が回答した。町民の意見の中にも、若者の減少（転出）を懸念する声もあり、それが町内の高齢化や人口減少に繋がっているとの認識がうかがえた。また「企業活動支援や企業誘致の促進」も 68.3%と高く、働く場所の創出を望む声が多いものと思われる（図表 65）。

図表 65 今後重要な取組

Q. 今後、氷川町の人口減少対策や地方創生への取組として重要な取組は何だと思いますか（複数回答可）。



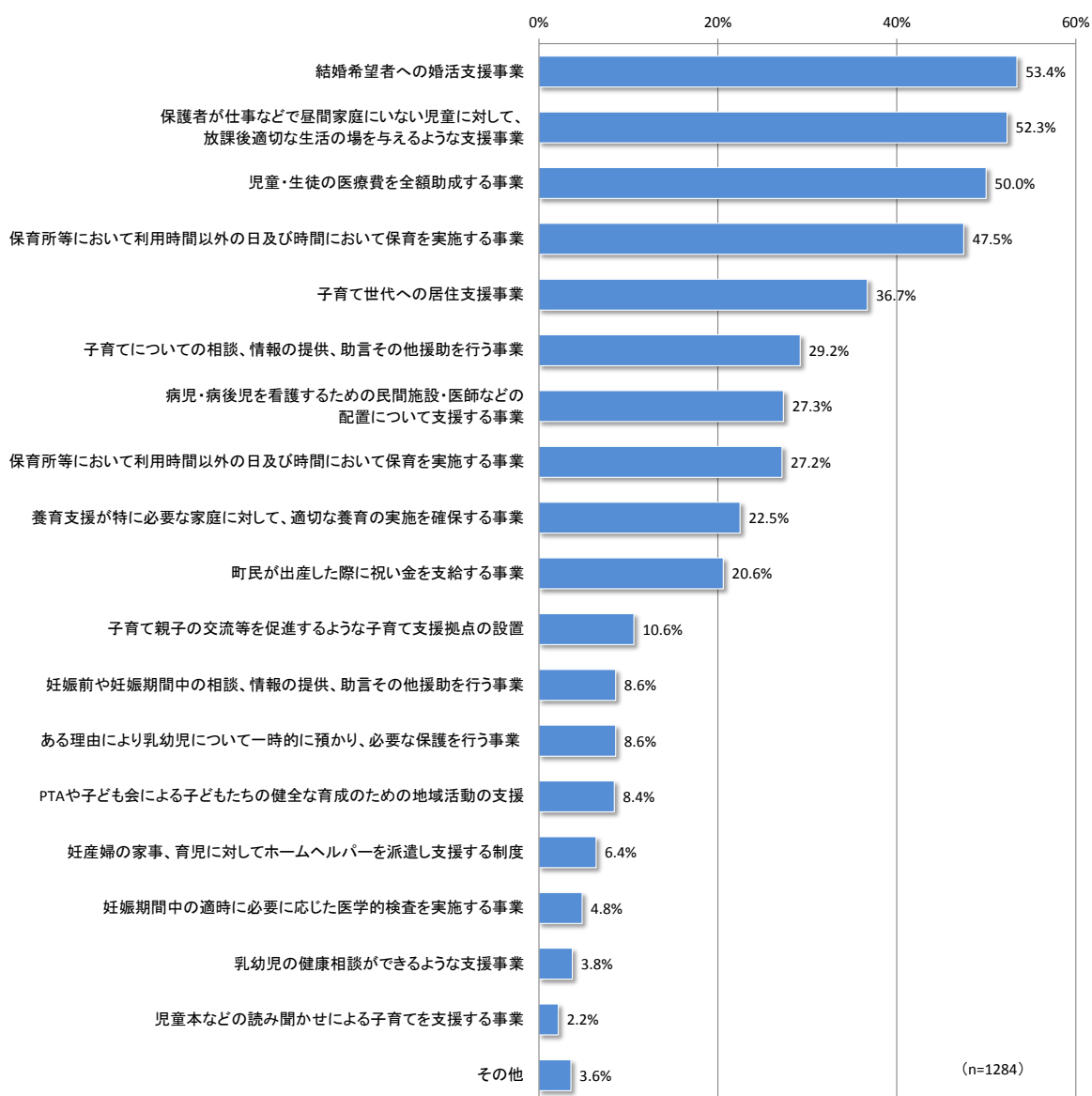
（４）結婚・出産・子育ての希望を叶えるための事業

最も多かったのが「結婚希望者への婚活支援事業」で 53.4%、ついで「保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童に対して、放課後適切な生活の場を与えるような支援事業」（52.3%）、「児童・生徒の医療費を全額助成する事業」（50.0%）となった（図表 66）。

若者の出会いの場の創出や、働く女性を考慮した子育てサポート体制、子育てに係る経済的サポートが町民の中では重要度が高くなっている。

図表 66 結婚・出産・子育ての希望を叶えるための事業

Q. 今後、結婚・出産・子育ての希望を叶えるために重要だと思う事業は何だと思いますか（複数回答可）。



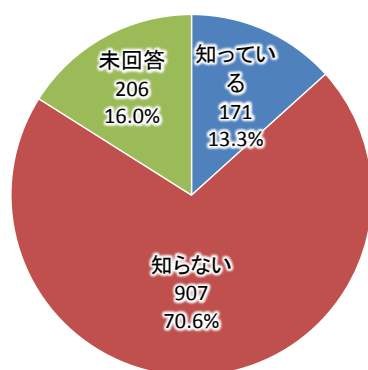
1-2-7 情報発信ツール認知度

(1) 氷川町 facebook、Instagram 認知度

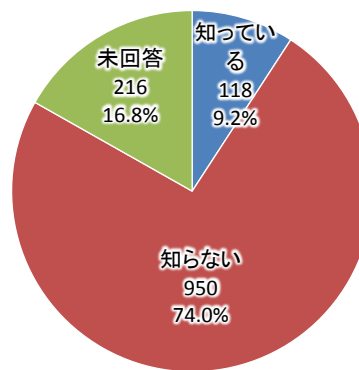
氷川町の情報発信ツールである、facebook と Instagram の認知度をみると、ともに「知っている」と回答した割合は1割前後にとどまり、「知らない」との回答が7割を超えている（図表 67、68）。

SNS はフォロワー数など、閲覧者が増えるほど情報拡散の可能性が高まる。まずは町民への周知を行い、認知度を高めていく必要がある。

図表 67 氷川町 facebook 認知度



図表 68 氷川町 Instagram 認知度



1-2-8 自由コメント分析

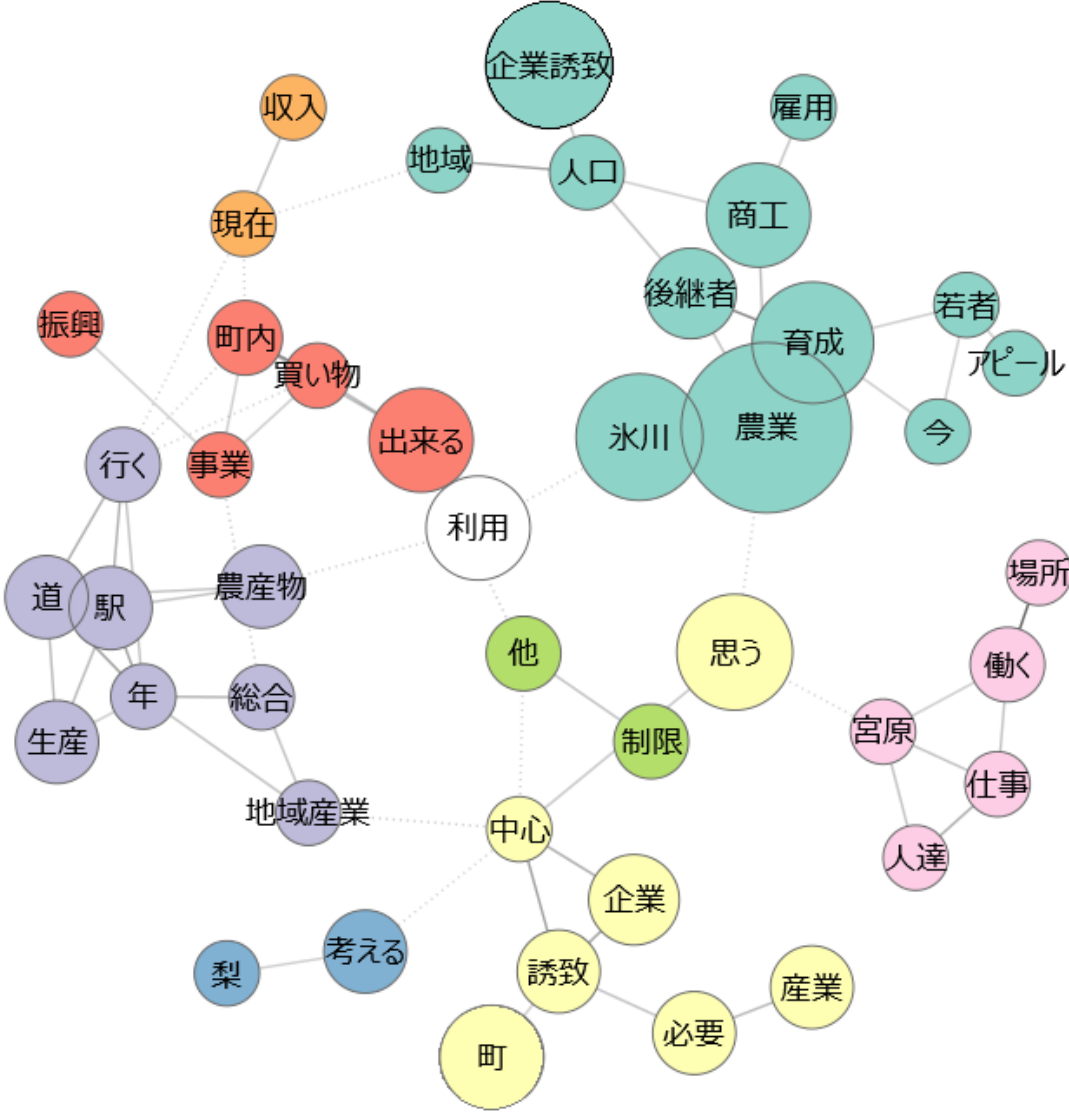
住民アンケートにおいて、以下の12項目について得られた自由コメントについて、キーワードの関係性をみる共起ネットワーク分析を行った。

(1) 地域産業の興隆（農業、商工業、企業誘致）	
① 元気な地域産業の育成	
② 持続可能な地域産業の育成	
(2) 町内外の交流（観光、情報発信、移住定住）	
① 催し開催による交流促進	
② 魅力発信による移住定住促進	
(3) 結婚・子育て・教育	
① 安心して産み育てられる子育て支援	
② 地域と連携した子育て環境ときめ細やかな学習支援	
③ 結婚希望者への結婚応援	
(4) 町の暮らしやすさ、安心・安全、住宅政策、防災	
① 住宅整備・利活用の促進	
② 安全・安心・快適な生活環境の創出	
③ 地域防災の強化	
(5) 町の地域資源（魅力、宝）について	
(6) その他自由意見等	

共起ネットワーク分析とは、出現パターンの似通った単語、単語同士の結びつきの程度が高い単語を線で結んだネットワークを描き、単語同士の繋がりを把握することができるものである。

(1) 地域産業の興隆（農業、商工業、企業誘致）

①元気な地域産業の育成



コメント例

■ 農業振興・商工振興について

性別	年齢	コメント内容
未回答	40代	氷川町の特色である農業はこれからもアピールして行ってほしい。後継者の育成により若者が残る。
女性	未回答	梨畑やミカン畑、空き田んぼの荒れ地が増えて目立ってきた。農業後継者の育成をお願いしたい。氷川町特産品がいつまでも豊富にありますように。
男性	60代	ベッドタウンでもいいから近郊の企業誘致を行い、人口増加に繋げる。

■ 買物環境について

性別	年齢	コメント内容
女性	50 代	買い物が町内で出来るようにしてほしい。
男性	60 代	買い物をするとき氷川町外に行かなければならない。

■ 道の駅について

性別	年齢	コメント内容
男性	60 代	道の駅を柱として農産物発信はすばらしい。
男性	60 代	道の駅は多少にぎわっているが、地域産業では減少が横ばいであまり変化がないように感じる。
女性	60 代	氷川町の農産物は新鮮でおいしい。道の駅も 1 年を通して求めたい野菜や果物があり、行くのが楽しみ。利用者にはとてもありがたい所だが、生産者にとってはどうなのだろうか。生産者にもうれしい所であってほしい。

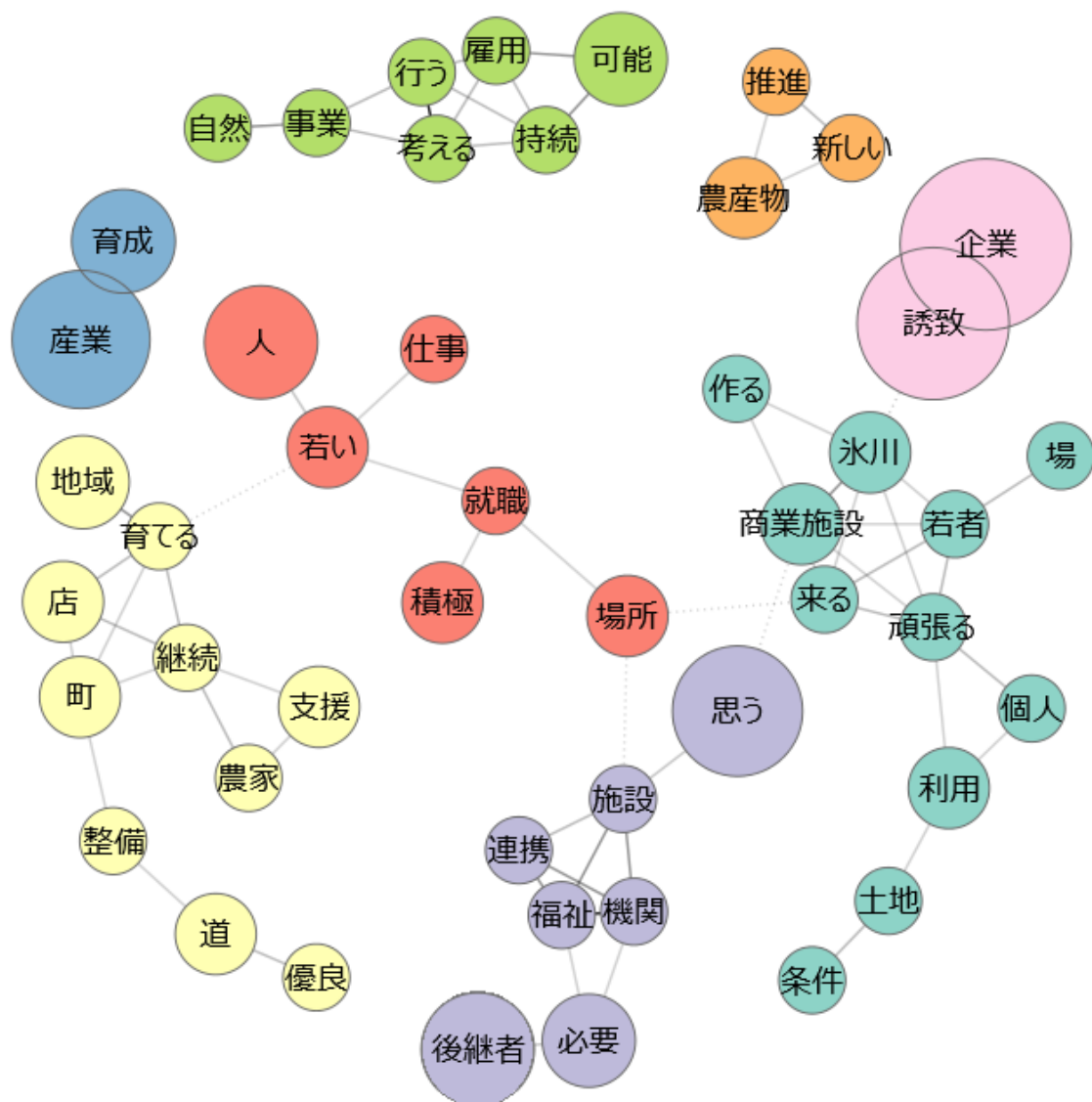
■ 企業誘致について

性別	年齢	コメント内容
男性	50 代	働く場所がない、企業誘致が必要。
未回答	60 代	スマート IC も開通しているので全国的流通の企業誘致を期待している。
女性	70 代以上	企業誘致（若い人達が出来る仕事、定年後の人達も出来る仕事）。

■ 「しごと」について

性別	年齢	コメント内容
男性	70 代以上	働く場所を作る、中小企業の呼び込み。働く場所の確保。

②持続可能な地域産業の育成



コメント例

■若者が住みたいまち、土地の利用について

性別	年齢	コメント内容
未回答	40代	もっと商業施設（企業）を誘致して下されば、若者は氷川町に来ると思うので頑張ってほしい。
男性	70代以上	土地利用計画策定（農地、商用・公用地、住宅地、工場用地）が必要。

■ 持続可能性について

性別	年齢	コメント内容
男性	30 代	持続可能性については、後継者、労働者を育成する必要がある。つまり人口増加と地域雇用の創出が前提にある。また、後継者同士の交流会や研修を行うとよいと考える。

■ 若い世代の雇用について

性別	年齢	コメント内容
女性	70 代以上	若い世代が就職できるような企業や商業の誘致を積極的にするべき。
男性	60 代	地元で就職できるような場所、魅力のある企業がない。

■ 地域産業について

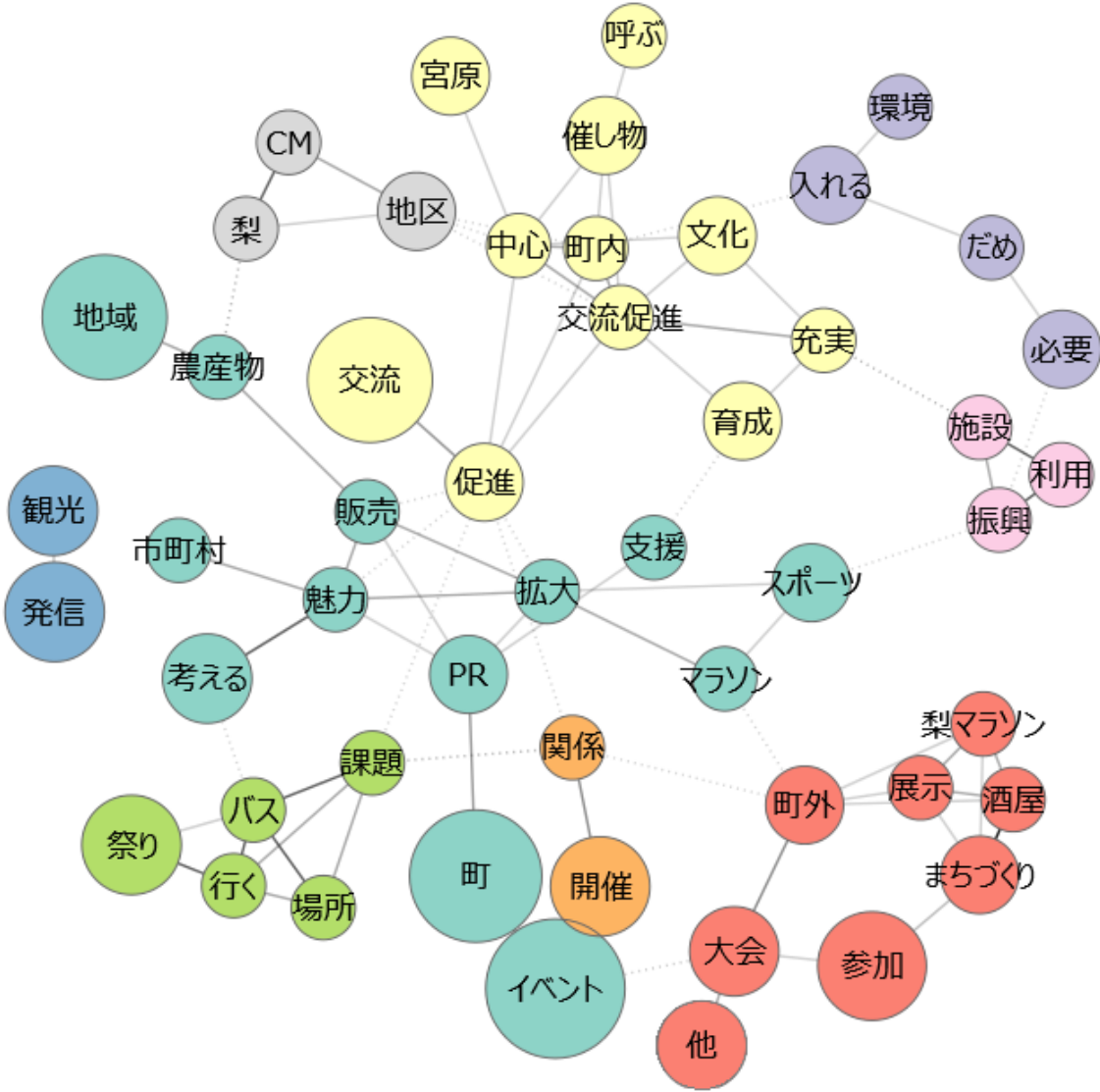
性別	年齢	コメント内容
未回答	70 代以上	地域産業の担い手として若い人を育てる必要がある。
男性	40 代	農家への継続的な支援が必要。

■ 異業種連携について

性別	年齢	コメント内容
女性	30 代	農業の後継者不足について、福祉との協働で解消できないか。近隣の福祉施設や医療機関、または公的な相談機関との連携。（そのためには間に専門の仲介役が必要だと思う。）

(2) 町内外の交流（観光、情報発信、移住定住）

① 催し開催による交流促進



コメント例

交流促進について

性別	年齢	コメント内容
未回答	70代以上	地域産業の育成と地域文化の充実・発信という視点からの交流促進を進めてはどうか。
男性	70代以上	町内の交流（催し物）を中心に促進したら各地区の交流促進になるのでは。

■ 地域 PR について

性別	年齢	コメント内容
男性	60 代	農産物（苺、梨）等地域によるイベント等を多く催し県内外の観光客を誘発してはどうか。
男性	50 代	宇城地域と共同で農産物の販売会等を行ってはどうか。
男性	20 代	イベントの催しは単発となるため仕事を通じての交流を促進し、農商工業者の販路拡大や企業 PR に尽力すべきと考える。フェアやネット販売だけでなく動画を作ること町の魅力はさらに伝わり、知名度も格段に上がる。

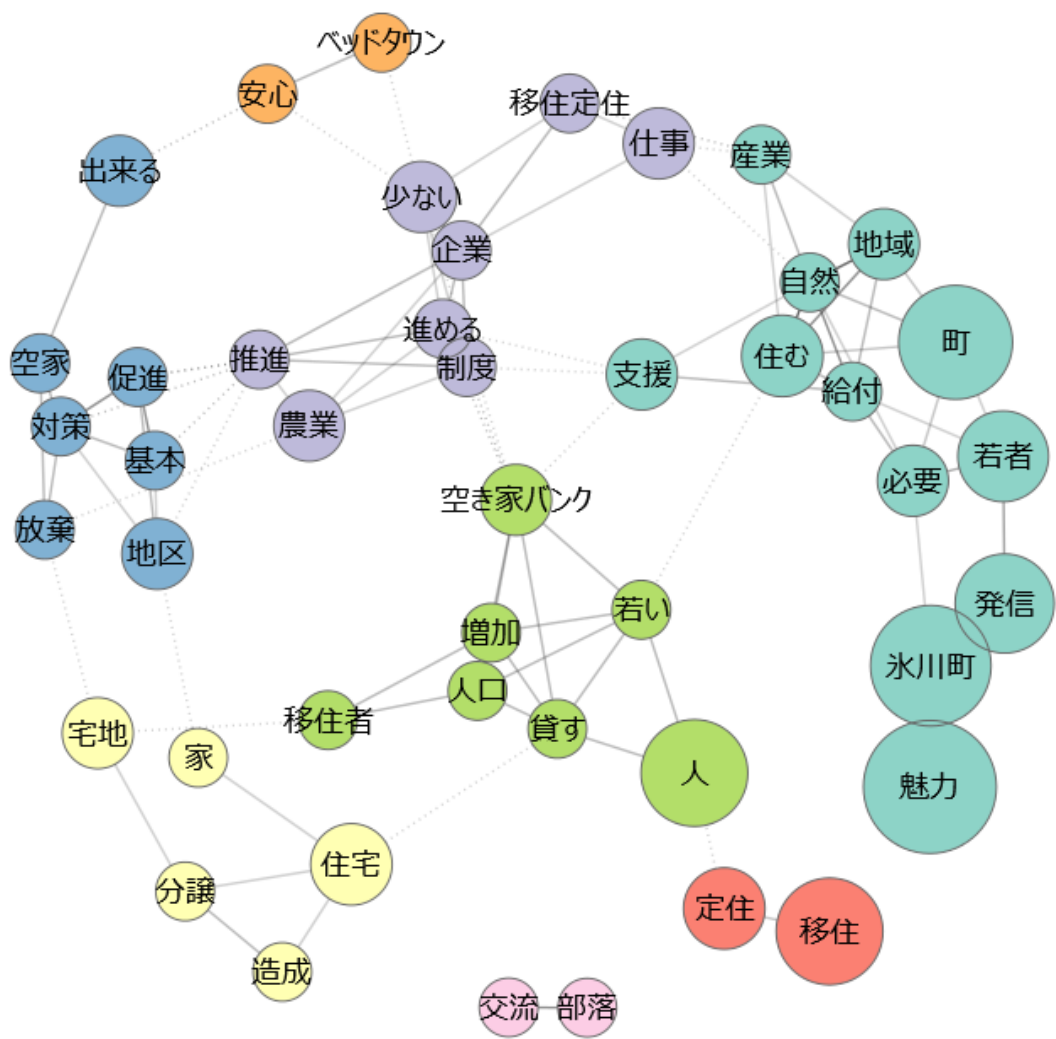
■ 祭り等の開催について

性別	年齢	コメント内容
女性	60 代	例えば氷川まつり、シャトルバスが区切られて運行される。これでは行きたいと思っている高齢者や身体に障害のある方その場所までどうやって行くかが課題。（バス発車の所）細かいところもっともって考えてほしい。

■ その他イベントの開催について

性別	年齢	コメント内容
女性	60 代	春のヘラブナ釣り大会や秋の梨マラソンなど定着してきた催し、まちづくり酒屋の様々な展示会など町外からの参加、見学があるのは喜ばしいことだと思う。

②魅力発信による移住定住促進



コメント例

■ 情報発信等について

性別	年齢	コメント内容
男性	30 代	「豊かな自然と人々」これが氷川町の魅力だと思っている。若者が住みやすい町づくりには雇用と住まい、子育て支援が必要であり、現金給付ではなく現物給付がよいと考える。それは官民協力のサービス供給である。それらが住みやすい地域を作り町の魅力を発信することにつながる。
女性	50 代	町内に住む若者世代（若者世帯）に良い所を発信してもらう。

■ 「しごと」について

性別	年齢	コメント内容
男性	60代	氷川町から日本へ発信するブランドやニュースが欲しい。宇城市のように企業誘致して若者の仕事を増やす。

■ 計画等の策定について

性別	年齢	コメント内容
男性	70代以上	移住促進対策協議会（中核的役割）、移住推進計画策定（基本方針）、移住促進地区（モデルや区指定）を進めてはどうか。

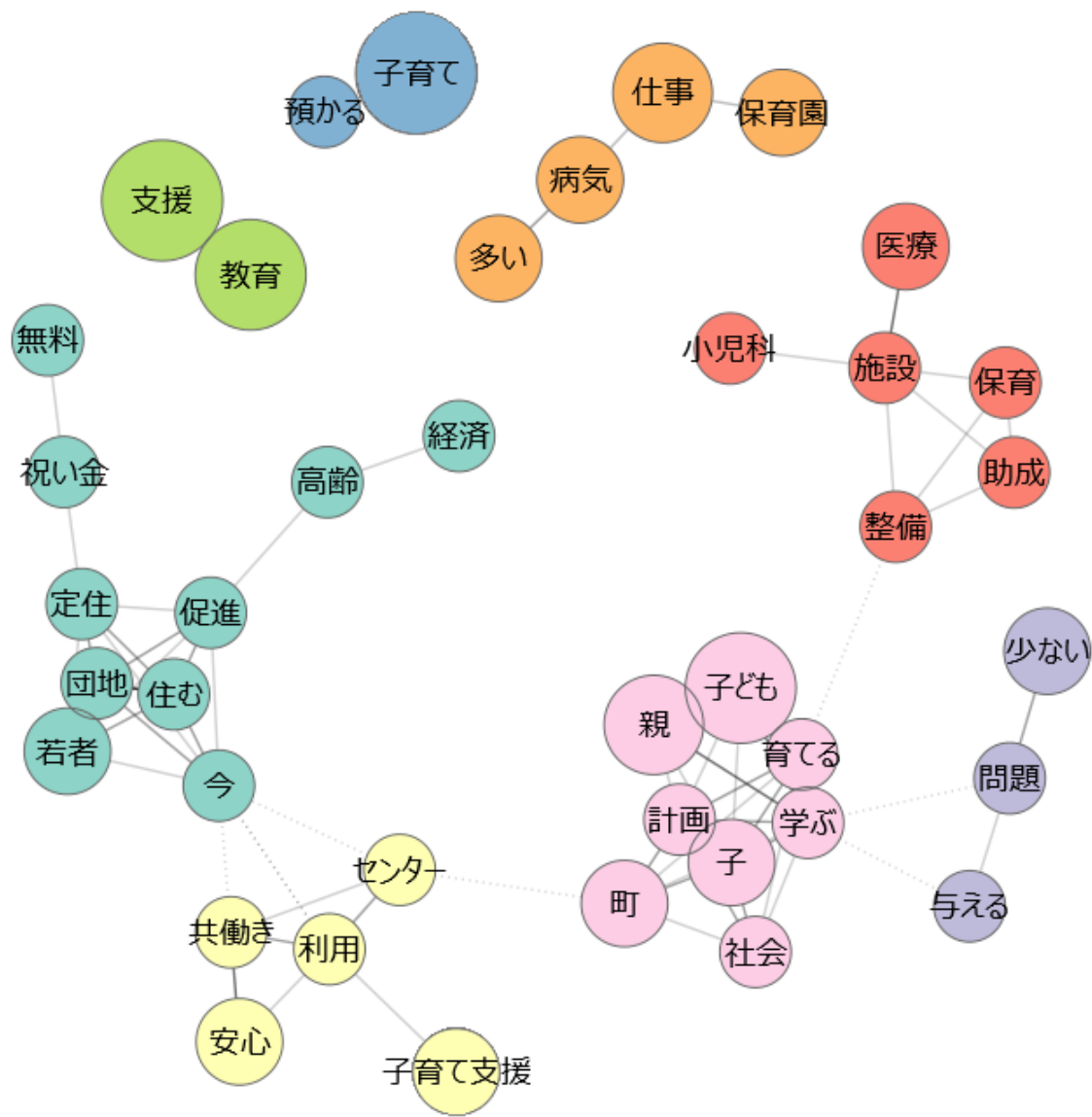
■ 空き家バンクについて

性別	年齢	コメント内容
女性	70代以上	空き家バンクなど若い人たちに貸して人口増加を。
男性	70代以上	空き家バンク制度はあるが、入居者の支援が少ない。よって自己負担が大きいため、空き家バンクが進まない。また、PRについても広域で進めるべき。

■ 宅地整備について

性別	年齢	コメント内容
男性	50代	立神峡近隣の宅地開発（別荘、分譲など）
未回答	70代以上	宅地として利用しやすい、土地利用のしかた（移住者への援助）
未回答	70代以上	農業放棄地等を宅地に整備できないものか？

(3) 結婚・子育て・教育
①安心して産み育てられる子育て支援



コメント例

■ 出産祝い金について

性別	年齢	コメント内容
女性	30代	出産祝い金や、医療無料等は本当にありがたい。
男性	70代以上	出生祝い金はまだ少し思い切った方策が必要。(あくまでも氷川町に定住することが前提条件)

子育て支援センターについて

性別	年齢	コメント内容
女性	40代	今は共働きの家庭がほとんどで子育て支援センターを利用する機会はないと思う。そこをどうにか改善して、働いているお母さん、お子さんが安心して利用できるようにできたらと思う。

子ども育むまちづくりについて

性別	年齢	コメント内容
男性	70代以上	「子どもを育む町」として、子どもを大事にする町づくり計画（1、素直な子ども 2、親を大切にする子ども 3、社会に役立つ子ども）や、どう育てるか計画（1、元気な子 2、やさしい子 3、学ぶ子）などがあるといいのでは。

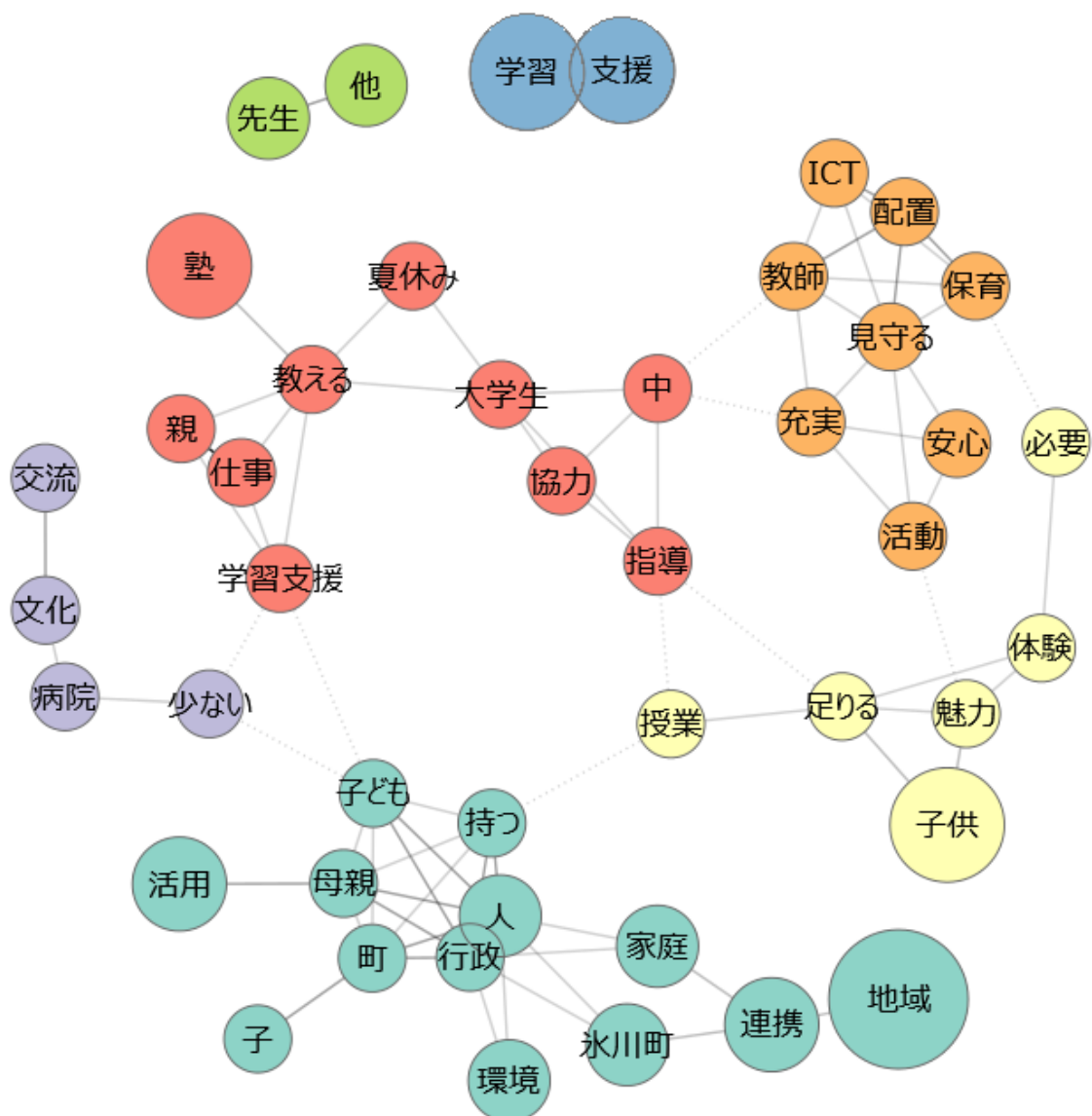
小児医療について

性別	年齢	コメント内容
男性	30代	幼児教育、保育、医療の助成。公共施設の整備、子育て世代の交流会。
男性	60代	小児科など医療施設の充実。

保育園について

性別	年齢	コメント内容
女性	30代	仕事をしている人への保育園・幼稚園の対応。復帰がすぐにできない。
女性	40代	仕事をしながら子育てするには、保育園だけでなく、病気の時に預かってもらえる場所がほしい。子どもの人数が多いと長期に休みづらい。

②地域と連携した子育て環境ときめ細やかな学習支援



コメント例

■ 学習支援について

性別	年齢	コメント内容
男性	30代	塾に行かせる余裕がない家庭は地域で学習支援などして下さると助かる。仕事があるので親が教えるヒマがない。
女性	70代以上	大学生等が夏休み・冬休みを利用して子どもたちに勉強を教える。(塾通いができない子どもたちの為)

■ 地域内連携について

性別	年齢	コメント内容
男性	40 代	これから増加していく高齢者が主体となって、地域と連携出来ることはないのかなと思う。元気な高齢者が多いので。
男性	70 代以上	0 才から 15 才までの人づくり教育の環境づくり。母親が母子手帳を持った時点からの 15 年間の人づくり教育を行政がリードしながら地域、家庭の連携を図る。非常に難しい事ではありますが、生まれてくる子どもにとって若い両親と 4 人の祖父母がいる筈です。この力を活用して 15 年間の（0 才からの）人づくり教育をすすめている町が「氷川町」ですと言われるようになればと思っています。行政と地域住民が一体となることです。

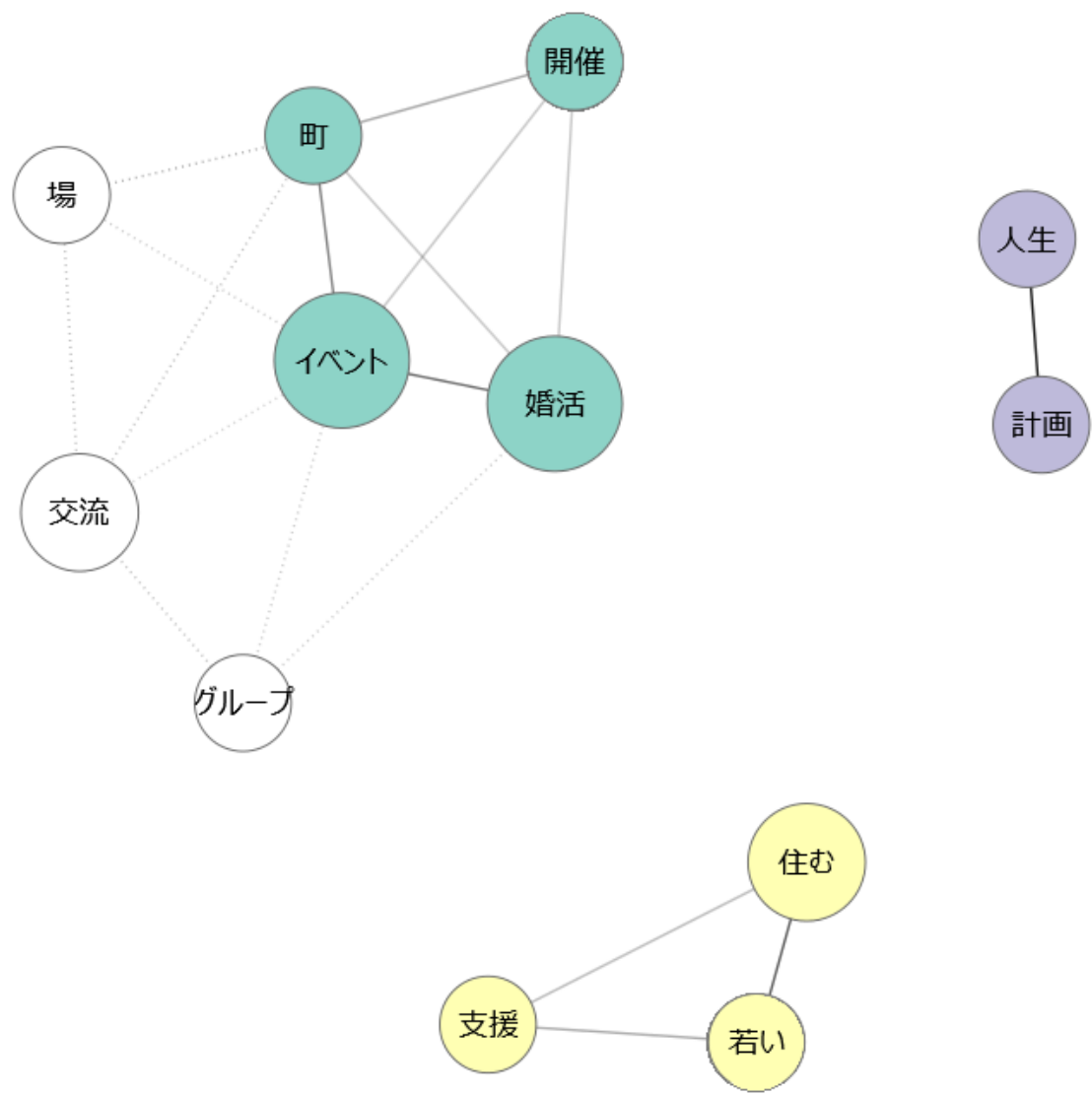
■ 体験型教育について

性別	年齢	コメント内容
女性	70 代以上	氷川町の子どもたちはのびのびと育ててはいますが、大きくなるにつれて個性が足りません。もっと地域と連携して、魅力ある人達を学校に呼んで、一緒に体験するのも良いと思います。

■ ICT 教育について

性別	年齢	コメント内容
男性	30 代	県内の有能な教師や保育士の配置。スクールソーシャルワーカーの配置。ICT による学習と見守りの支援（町内に顔認証システムを整備し、迷子や防犯に寄与する）
男性	60 代	道の駅で流れていた ICT の放送はアピールになっていたと思います。

③結婚希望者への結婚応援



コメント例

■ 婚活イベントについて

性別	年齢	コメント内容
女性	30代	グループでの婚活イベントも良いですが、1人1人マッチングできるようなものがあればいいと思う。
男性	30代	婚活イベントを年2〜3回開催、新婚2年以内で町に住むものに対して祝い金助成等の制度を作ってはどうか。

☐ 交流の場の創出について

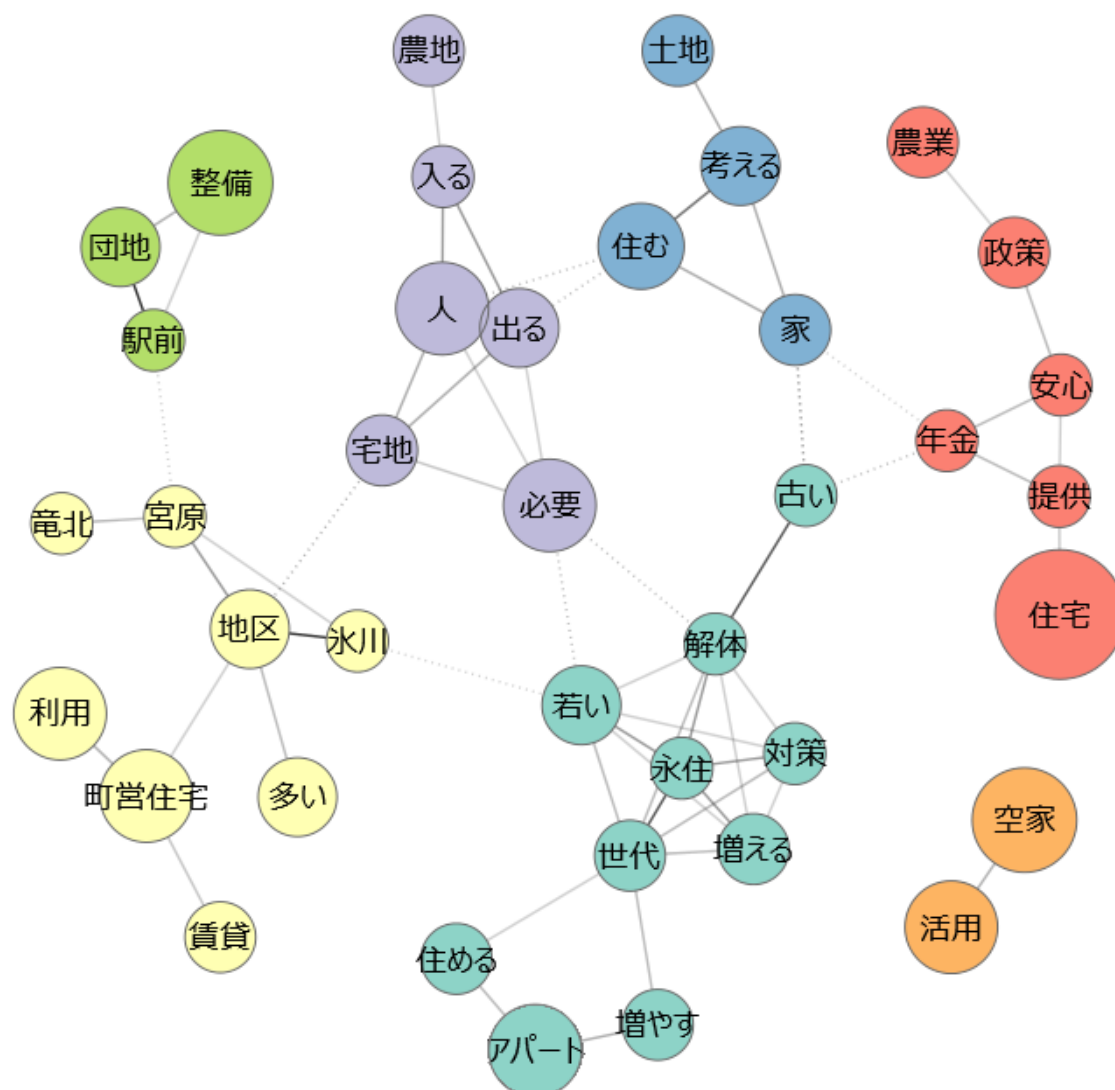
性別	年齢	コメント内容
女性	50 代	町のイベント時にお手伝いを頼むなど、自然な形で交流の場を設ける。

☒ 結婚支援について

性別	年齢	コメント内容
女性	50 代	地元に住む若い夫婦に支援金等の制度の検討。

(4) 町の暮らしやすさ、安心・安全、住宅政策、防災

①住宅整備・利活用の促進



コメント例

■ 年金所得者の住宅について

性別	年齢	コメント内容
女性	70代以上	低年金でも安心して暮らせる住宅提供。

■ 農地の宅地転用について

性別	年齢	コメント内容
男性	60代	宅地許可が下りないので子どもたちが地区を出て行く。若い人が結婚しても氷川町に残れるように住宅地の許可が必要。

■ 町営住宅について

性別	年齢	コメント内容
女性	40 代	賃貸住宅の増加、利用されていない町営住宅の改築。
男性	50 代	町営住宅の充実。アパート、マンション等の賃貸物件が少ないうえに高い。
男性	70 代以上	利用せず放置されている町営住宅。荒れたままに放置しないで処分するものであればそれなりに処分していただきたい。見るも無残な家屋をそのままに放置されている。

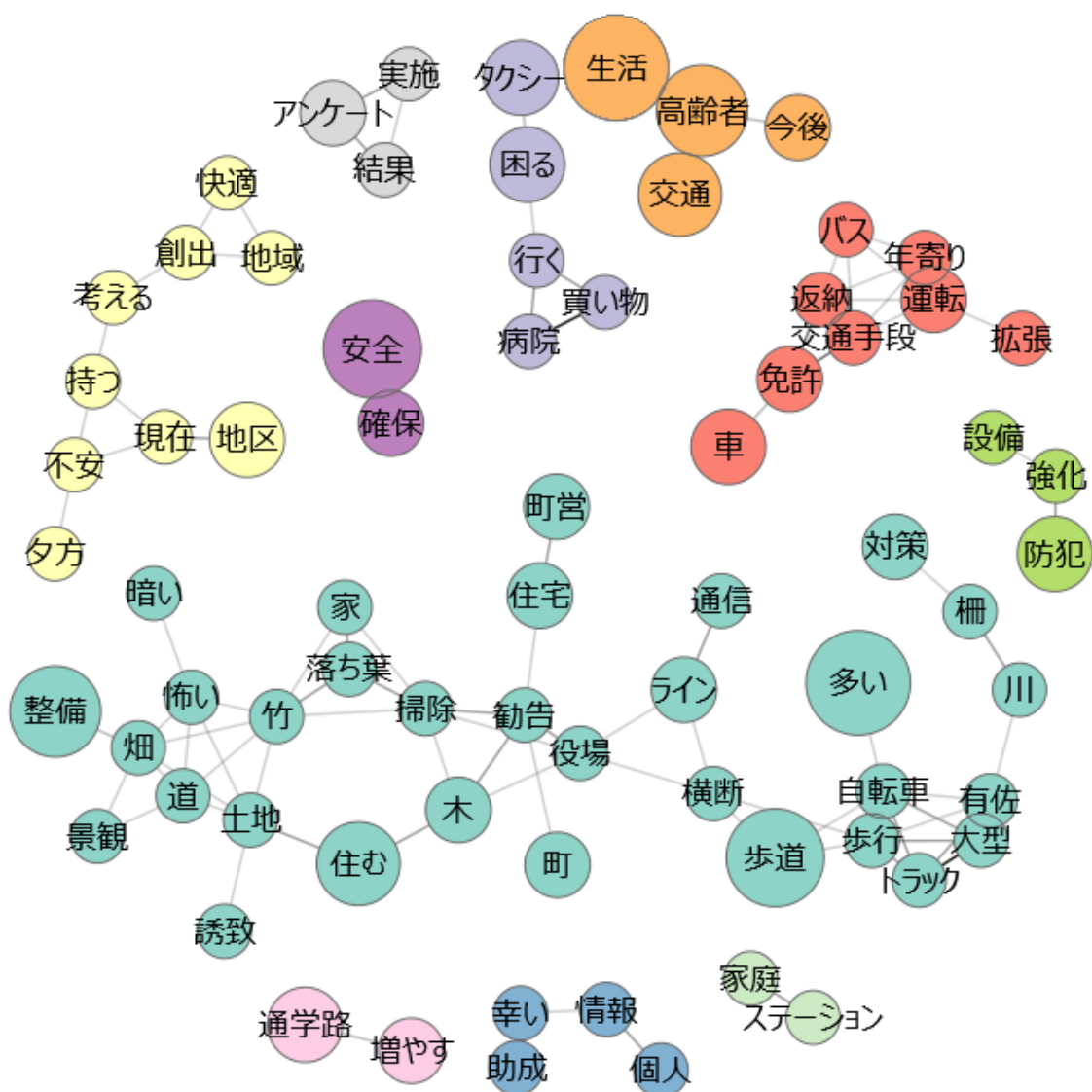
■ 移住者の住居について

性別	年齢	コメント内容
女性	30 代	若い世代の移住、永住につながる対策が必要ではないかと思う。新築の若い世代への祝い金等があるとか、空き家とか、空き家の解体工事の助成金があれば、若い世代の永住も増えるのではないかと思う。（ただし、これは、新築の永住者に限るのかと思われます。）

■ 空き家について

性別	年齢	コメント内容
女性	20 代	空き家バンク利用したい。リノベーション可にしてほしい。
未回答	70 代以上	空き家の利活用の促進。

②安全・安心・快適な生活環境の創出



コメント例

■高齢者について

性別	年齢	コメント内容
未回答	70代以上	現在の住居は高齢者又、車の免許等を持たない人は今後の生活をするに当たり生活が困難。地区の60%以上が高齢者の為、不安を感じている。

交通について

性別	年齢	コメント内容
女性	70代以上	高齢者の一人暮らしで、病院に行ったり買い物に行ったりするのにタクシーがなかなか来なくて困っている。交通の便が悪い。
男性	70代以上	高齢者の交通事故ばかり報道されているが、若者、中年、高齢者の交通法規の順守を強く要望する。警察署は無くなり生活道路は無法化している。

高齢者交通について

性別	年齢	コメント内容
男性	50代	年寄りの運転免許返納後の交通手段、タクシー、バス代補助を検討してほしい。
男性	60代	車の免許返納後の交通手段。

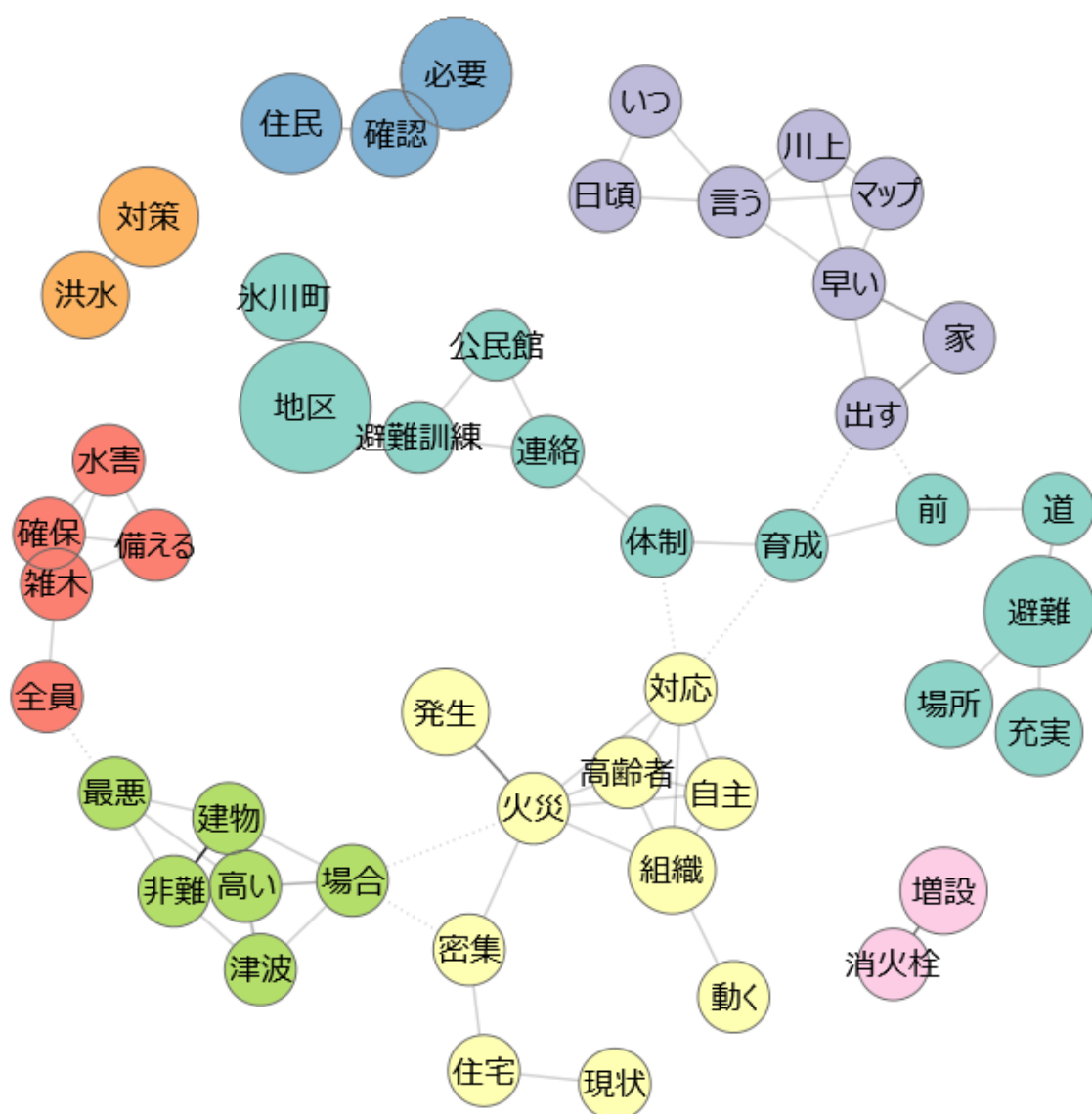
住環境について

性別	年齢	コメント内容
男性	60代	所有者のいない土地、畑は竹や草が生え動物が出てきたりして怖いこともあり、環境の整備をしてほしい。道も狭く住みにくい。
男性	60代	休耕田畑の整備（景観と安全確保）居住宅周辺
女性	30代	通学路の安全確保。
男性	60代	有佐駅から国道3号線への県道は通勤・通学の歩行者、自転車が多いが歩道もなく大型トラックが多く危ない。大型トラックの通行を規制するか減らす工夫をしてほしい。
男性	70代以上	交通量が多い道路の歩道整備、車、自転車、歩道の区別整備。

防犯について

性別	年齢	コメント内容
男性	30代	ICTによる防犯対策の強化。
男性	30代	外国人労働者が増えた地区での防犯強化
女性	30代	夕方になると防犯上不安な場所が多い。

③地域防災の強化



コメント例

■防災マップ等について

性別	年齢	コメント内容
女性	30代	ハザードマップの充実、各災害ごとに分かりやすい避難場所の提示。
未回答	70代以上	自宅が土砂災害が発生しやすい土地にあるという防災マップを頂いた。1日も早い機会に地区の方と話し合ってみたい。

■避難場所、避難訓練等について

性別	年齢	コメント内容
女性	30代	地域ごと（地区ごと）の避難訓練の実施。
男性	30代	地区消防団と地域住民との避難訓練。緊急連絡網の整備。食料品を各公民館に配備する。
女性	40代	安心して避難できる、誰もが行ける場所を作してほしい。

■避難場所の整備について

性別	年齢	コメント内容
男性	60代	最悪のパターン時（例えば）洪水などの時、非難する高い建物が氷川町はほとんど無いので、地区に1つ考えを検討してほしい。
未回答	60代	この地域は海拔0m地帯なので、津波等が来た場合、非難する余裕がない為、高い建物（3階以上）を設置してほしい。

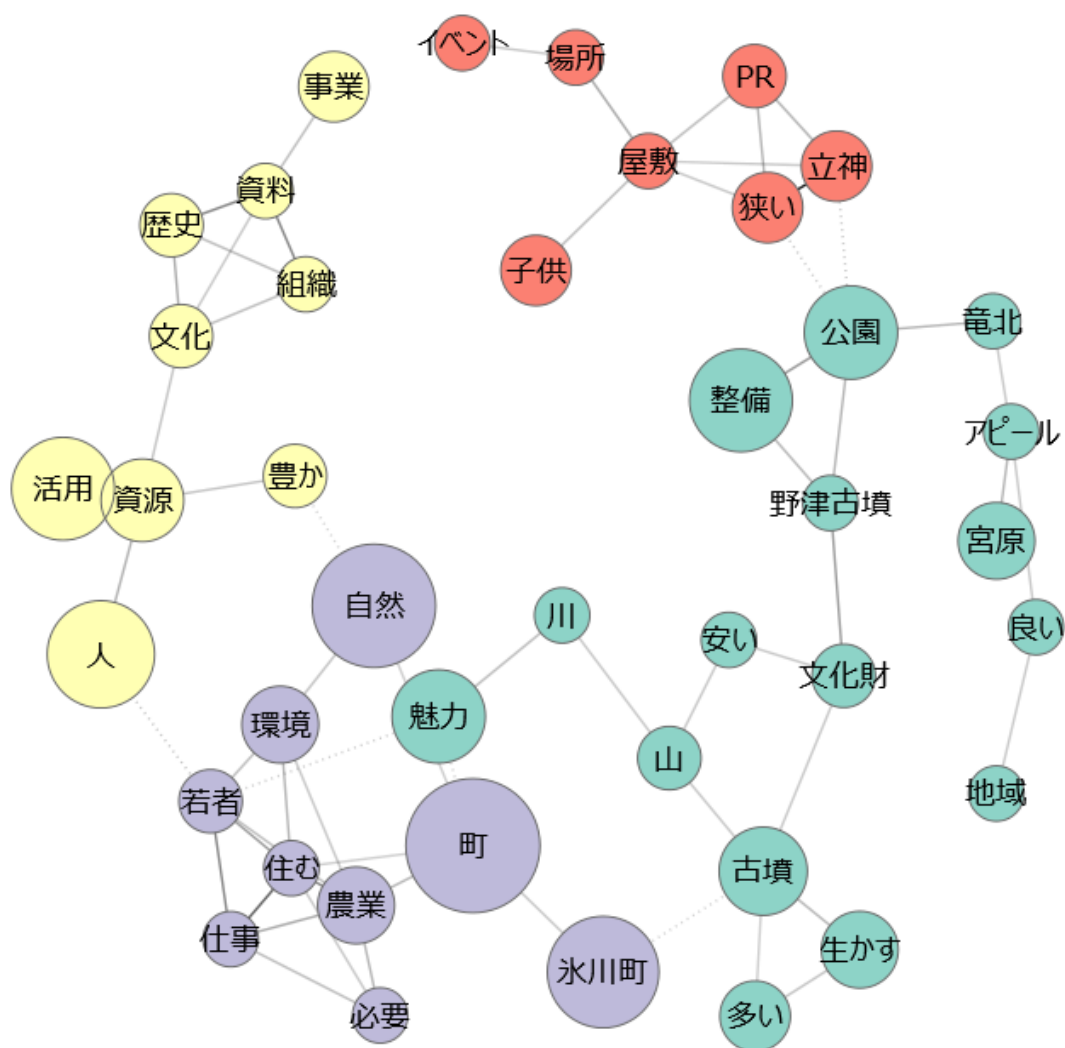
■防災のための整備について

性別	年齢	コメント内容
男性	60代	水害に備えた河川の雑草及び雑木の除去（河川敷居住の独居老人の安全確保のため）

■災害時の対応等について

性別	年齢	コメント内容
男性	70代以上	自主防災組織は名ばかり、地域で発生する小規模火災にも高齢者ばかりで対応できない。

(5) 町の地域資源（魅力、宝）について



コメント例

■ 立神峡について

性別	年齢	コメント内容
女性	30代	立神峡公園の里地屋敷は昔の暮らしが体験できるので、もっと広く認知されるようにした方がよい。
未回答	50代	立神峡に大型バスの止まれる駐車場、トイレ、売店の整備。
女性	70代以上	立神峡等を大いにPRし、若い人達を集め、イベントを開催する。
男性	70代以上	立神峡公園の整備。近隣市町村の住人が自然とバーベキューなどを楽しめる公園に。

■ 自然環境について

性別	年齢	コメント内容
男性	30 代	自然が豊か、農産物がおいしい。
女性	30 代	自然を生かしきれていない。若くて健康な人だけを対象とした設備、イベントになっていないか？親子、高齢者がいっしょにすごせる場所づくりをしほしい。
男性	60 代	町には自然や農業など従来からの魅力があるが仕事がないければ若者は住まない。
女性	60 代	美しい自然の中に整備された住みやすい環境。町民の声が届きやすいコンパクトな町であり、農業と文化の町である。

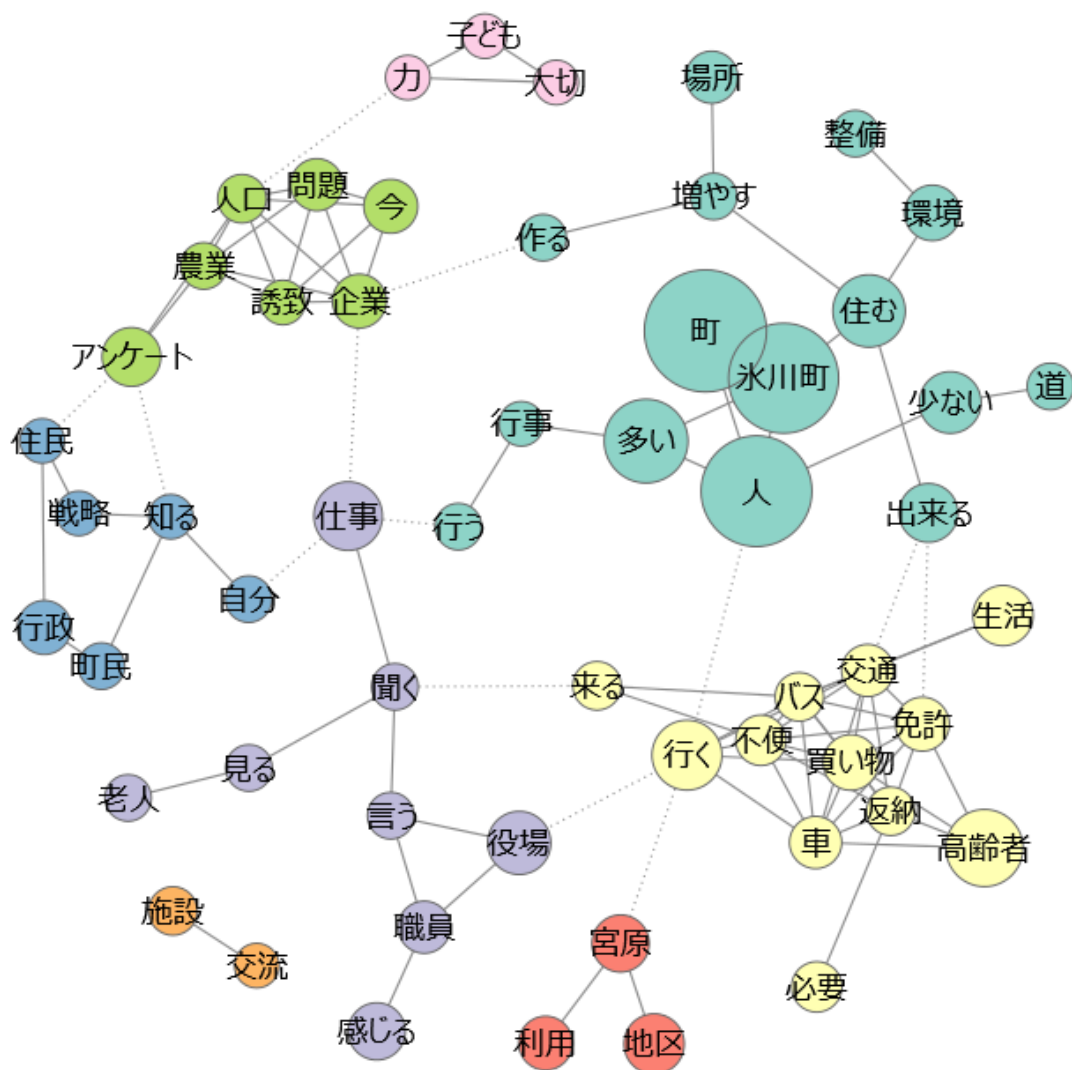
■ 野津古墳について

性別	年齢	コメント内容
未回答	60 代	野津古墳群の整備と活用、公園化。
男性	70 代以上	氷川町は文化財の町であり野津古墳、大野屈古墳の整備を急ぎ公園化する、又発掘品の保管と展示を進めてほしい。
男性	60 代	氷川町も国指定文化財が多くあります。氷川町の振興計画でも野津古墳の整備もあがっているはず。計画がなくなることがないように。

■ 人的資源について

性別	年齢	コメント内容
女性	50 代	人の資源は豊富と思うので退職者の方、子育て中の人を活用する。自然環境豊かなのでもっと活用してはどうか？子供や若者に発信してもらおう。
男性	70 代以上	町の資源、宝は「人」です。人づくり。行政に携わる人の「主体性」、委託してやってもらった後の主体的活用が大事だと思う。氷川町は 3 世代、4 世代の家庭が多いと言われるようになった時、何か見えて来るものがあるような気がする。
女性	60 代	人的資源はあるはずですが。文化レベルの充実があれば、人は他へ行かないと思う。

(6) その他自由意見等



コメント例

■ 住環境について

性別	年齢	コメント内容
女性	30代	子供の教育に関しては他の地域に比べてとても充実していると思う。氷川町に引っ越したいという若い世帯の方たちの話をいくつも聞くが、結局「住む場所」がなく近隣の市や町へ住んでいる。もったいないと思う。
男性	30代	住む環境はいいので、もう少しアパートや貸家等を増やして欲しい。(出来れば安い価格で。) 交通の利便性が悪くないので田んぼや空き地を利用してすると若い人や子育て世代は助かると思う。

■ 農業・商工業（企業誘致等）について

性別	年齢	コメント内容
女性	50代	企業を増やし、働ける場所を作るべきだと思う。農業（特にい草農家）への支援もよろしくお願いします。
未回答	70代以上	氷川町の展望を語るとき、農業がすべてである。企業誘致・企業の掘り起こし多々望むことは多いが、今もこれからも我が町の土壌にその風土はないのである。
男性	60代	氷川町の農業をどうするか。農業の跡継ぎ問題、嫁問題、生活できるのか。氷川町の農業は何なのか。独自性をもたなければ隣の宇城市か八代市に吸収されると思う。
女性	50代	企業誘致。商工会も守らなければならないけれど、それはどこの市町村でも町がうるおうためには死活問題の道も通らなければ仕方のない問題。

■ 高齢者について

性別	年齢	コメント内容
女性	70代以上	高齢者福祉タクシー料金助成事業はほんとうにありがたく思う。他町村の方から「氷川町はいいね」と言われる。
男性	70代以上	次の車の免許切り換えの時に免許証を返納するつもり。すると買い物、通院の為の交通手段としての自家用車を使用できなくなる。町内の必要な場所へ行くことができるように、バスの路線をきめ細かく作ってもらいたい。あるいは、免許返納者及び高齢者に対してタクシー券を配布してもらいたい。

■ 役場職員について

性別	年齢	コメント内容
男性	60代	役場に行っていつも思うが、活気がない。パソコンに顔を向けている為か、カウンターに近づいても、すぐに立ち上がる人は少ない。
男性	60代	まちづくり、町おこしの直接的な担い手は役場の職員。したがって、その能力・手腕が問われることになる。つまり、職員の採用に当たってはできるだけ優秀な人材を確保できるようにしてほしい。何をするにも改革・変革の基本は人材である。

氷川町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関するアンケート ～アンケート調査へのご協力をお願い～

日頃から、町政運営につきましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、氷川町では平成 28 年 3 月に『氷川町まち・ひと・しごと創生総合戦略』を策定し、人口減少の克服、地方創生等について取り組みを進めてきました。

今年度をもって現行の戦略が満了を迎えるため、町を取り巻く状況や新たな社会潮流を踏まえた第 2 期氷川町総合戦略の策定を進めています。

そこで、町民の皆様が日頃感じておられることや現状の評価をお聞きし、今後の施策推進の資料とするためアンケート調査を実施します。

この調査は無記名でご回答いただき、すべて統計的に処理しますので個人は特定されません。また、他の目的には一切使用しません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、氷川町のよりよいまちづくりのため、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

令和元年 7 月 氷川町長 藤 本 一 臣

【ご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、氷川町にお住まいの全世帯の方々を対象に調査へのご協力をお願いしております。
2. ご回答は、世帯のどなたか一人がお答えください。
3. お名前や住所の記入は不要です。
4. すべての質問は令和元年 7 月 1 日現在でお答えください。
4. 記入が終わりましたら、同封しております「返信用封筒」に入れ、切手を貼らずに 7 月 3 1 日（水）までに郵便ポストに投函ください。

<アンケートに関するお問合せ先、調査票の返信先（調査業務委託会社）>

公益財団法人 地方経済総合研究所 担当：山中、宮野

〒860-0012 熊本県熊本市中央区紺屋今町 1 番 23 号

TEL : 096-326-8634

FAX : 096-359-7226

<氷川町役場担当部署>

氷川町役場 企画財政課 企画係 担当：松本、馬淵

〒869-4814 熊本県八代郡氷川町島地 642 番地

TEL : 0965-52-5850（直通）

FAX : 0965-52-3939

問1 回答していただく方ご自身についてお尋ねします。

該当する番号に○をつけてください。

(1) 性別	1. 男性	2. 女性	
(2) 年齢 (令和元年7月1日現在)	1. 15歳～19歳 4. 30歳～34歳 7. 45歳～49歳 10. 60歳～64歳	2. 20歳～24歳 5. 35歳～39歳 8. 50歳～54歳 11. 65歳～69歳	3. 25歳～29歳 6. 40歳～44歳 9. 55歳～59歳 12. 70歳以上
(3) 健康状態	1. 健康 2. おおむね健康 3. 一部介護が必要 4. 多く介護が必要		
(4) お住まいの校区	1. 竜北西部小校区 2. 竜北東小校区 3. 宮原小校区		
(5) 町への居住期間	1. 1年未満 2. 1年超～5年未満 3. 5年超～10年未満 4. 10年超		
(6) 居住形態	1. 持ち家（一戸建て） 2. 賃貸 3. 親の住まいに同居 4. その他（ ）		
(7) ご結婚	1. 既婚 2. 独身		
(8) 家族構成	1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世帯同居 4. 三世帯同居 5. その他（ ）		
(9) 高校生以下の 子どもの有無	1. <u>いる</u> ● └─┐ 2. いない 未就学児（ いる ・ いない ）⇒3歳未満児（ いる ・ いない ） 小学生（ いる ・ いない ） 中学生（ いる ・ いない ） 高校生（ いる ・ いない ）		
(10) ご職業	1. 農林水産業 2. 建設業 3. 製造業 4. 運輸・通信 5. 卸・小売 6. 金融・保険 7. サービス業 8. 公務員 9. 専業主婦(夫) 10. 学生 11. 無職 12. その他（ ）		
(11) 自動車運転 免許	1. 持っている 2. 持っていない		

全ての世帯がお答えください。

問2 氷川町のくらしの安心度についてお聞きします。

それぞれの項目の安心度について○をつけ、最後にくらしの安心度全般について 0～100%で評価してください。

「くらし安心度」に関する項目	安心	どちらかといえ ば安心	どちらとも いえない	どちらかといえ ば不安	不安
1.歩道やカーブミラーの整備等の交通安全対策					
2.防犯パトロール等のくらしの安全を守る活動					
3.くらしの安全安心に関する情報提供及び相談体制					
4.防火水槽や消火栓等の消防施設整備					
5.消防団や地区の防災組織等の地域の防災組織体制					
6.避難施設の整備等の自然災害に対する防災対策					
7.雨水排水施設整備					
氷川町のくらし安心度を 0～100%でご記入ください				%	

問3 氷川町の住みやすさについてお聞きします。

それぞれの項目の満足度について○をつけ、最後に住みやすさ満足度全般について 0～100%で評価してください。

「住みやすさ満足度」に関する項目	満足	どちらかといえ ば満足	どちらとも いえない	どちらかといえ ば不満	不満
1.自然環境や景観					
2.居住環境の整備					
3.買い物の利便性					
4.交通の利便性					
5.福祉・医療サービスの充実					
6.健康づくり事業（健康診断や人間ドックなど）の充実					
7.子育て・教育環境の充実					
8.働く場所がある					
9.近所づきあい					
10.地域と行政が協働したまちづくり					
11.防災、防犯の推進					
氷川町の住みやすさ満足度を 0～100%でご記入ください				%	

妊婦、未就学児、小学生、中学生または高校生がいる世帯のみお答えください。

⇒妊婦・未就学児・小学生・中学生・高校生のいない世帯は9ページへ

問4 仕事・子育て両立サポート満足度、妊産婦サポート満足度についてお聞きします。

それぞれの項目の満足度について○をつけ、最後に仕事・子育て両立サポート満足度、妊産婦サポート満足度全般について0～100%で評価してください。

「仕事・子育て両立サポート満足度」に関する項目	満足	どちらかといえ ば満足	どちらともい えない	どちらかといえ ば不満	不満
1.希望する保育園及び幼稚園へ入園できていますか ※未就学児がいる世帯のみ					
2.保育園及び幼稚園の利用時間について ※未就学児がいる世帯のみ					
3.放課後児童健全育成クラブ（学童保育）について ※小学生がいる世帯のみ					
4.放課後児童健全育成クラブ（学童保育）の利用時間について ※小学生がいる世帯のみ					
5.子ども医療費助成制度（高校生まで無料化）について					
6.子育て短期支援サービスの利用について ショートステイ 8:00～翌 8:00 トワイライトステイ 17:00～22:00 (休日) 8:00～17:00					
7.病児・病後児支援サービスの利用について					
仕事・子育て両立サポート満足度を 0～100%でご記入ください			%		
産前産後ホームヘルプサービス、生後 2 か月児訪問等の妊産婦に対するサポート満足度を 0～100%でご記入ください ※妊婦または 3 歳未満のお子様がいる世帯のみ			%		

以下の子育てに関連する設問についても併せてお答えください。

1.子どもと触れ合う時間は1日どのくらいありますか	1日約	時間
2.お子様が生まれたとき、母親・父親は育児休暇を取得したことがありますか	(母親)	1. 取得した 2. 取得しなかった
	(父親)	1. 取得した 2. 取得しなかった

未就学児がいる世帯のみお答えください。

問5 幼児に対する子育て環境満足度、障がいのある幼児への育児サポート満足度についてお聞きします。

それぞれの項目の満足度について○をつけ、最後に幼児に対する子育て環境満足度全般について 0～100%で評価してください。

「幼児に対する子育て環境満足度」に関する項目	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満
1.町内の保育サービス（保育入園・延長保育・一時預かり保育）内容について					
2.あなたの保育料について					
3.地域子育て支援センターのサービス内容について ※利用された方のみ					
幼児に対する子育て環境満足度を 0～100%でご記入ください					%

それぞれの項目の満足度について○をつけ、最後に障がいのある幼児への育児サポート満足度全般について 0～100%で評価してください。

「幼児の育児サポート満足度」に関する項目	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満
1.児童通所（療育活動）のサービス内容について ※利用された方のみ					
障がいのある幼児への育児サポート満足度を 0～100%でご記入ください ※上記問いを回答された方のみ					%

小学生または中学生がいる世帯のみお答えください。

問6 小中学生に対する子育て環境満足度、学習環境に対する満足度についてお聞きます。

それぞれの項目の満足度について○をつけ、最後に子育て環境満足度全般について0～100%で評価してください。

「小中学生に対する子育て環境満足度」に関する項目	満足	どちらかといえ ば満足	どちらとも いえ ない	どちらかといえ ば不満	不満
1.郷土愛を育む教育の推進について					
2.遊ぶ場所について					
3.子ども会活動について					
4.地域での見守りにについて					
5.いじめ対策や不登校問題への対応について					
6.子育ての相談について					
小中学生に対する子育て環境満足度を0～100%でご記入ください				%	

それぞれの項目の満足度について○をつけ、最後に学習環境に対する満足度全般について0～100%で評価してください。

「学習環境に対する満足度」に関する項目	満足	どちらかといえ ば満足	どちらとも いえ ない	どちらかといえ ば不満	不満
1.ICT 教育について					
2.学習指導の状況について					
3.校舎や教室の設備について					
4.体験学習について					
5.「地域とともにある学校づくり」は進んでいると思いますか	1. そう思う 2. そうは思わない				
学習環境に対する満足度を0～100%でご記入ください				%	

高校生以下の子どもがいる世帯のみお答えください。

問7 出産・子育て（育児）、仕事との両立についてお聞きします。

1.子育て（育児）にとって重要だと思うことは何ですか <u>(あてはまるもの３つ以内に○)</u>	１．保育（保育料や学童保育、ベビーシッター代） ２．情緒・教養（習い事代、文科系のクラブ活動） ３．スポーツ（地域のスポーツクラブや体育系のクラブ活動） ４．教育（学費や塾代） ５．健康（医療、保険） ６．食事（食費、食育） ７．服装（服飾費） ８．交友関係 ９．生活環境（いい環境の地域に引っ越す、子ども部屋の増改築） １０．子どもの結婚、独立等への備え・蓄え １１．その他（ ）
2.出産・子育て（育児）と仕事を両立するために必要な取組みは何だと思いますか <u>(あてはまるもの３つ以内に○)</u>	１．出産・育児の総合的な相談窓口の設置 ２．育児休業を取得しやすいような取組み ３．配偶者や家族の家事育児のサポート ４．子どもの数に応じた経済的支援 ５．乳児及び幼児の健康保持と健全な育成のためのサポート ６．保育所等、子どもの預け先の充実 ７．出産・子育てについて職場の理解 ８．農家や自営業における一時的な働き手の確保 ９．母子家庭のサポートなど子どもを養育するための家庭の安定と自立の支援 １０．その他（ ）

高校生がいる世帯のみ、**高校生ご本人**がお答えください。(複数いる場合、年齢が高い方)

問8 高校生の方にお尋ねします。あなたの今後の進路等についてお聞きします。

1.あなたの年齢・性別	歳（高校 年生）	1. 男 2. 女
2.あなたが通う高校の所在地	市・町・村	
3.高校卒業後の進路	1. 進学	2. 就職
4.どこに進学または就職したいですか (一つに○)	1. 氷川町内 4. 中国・四国 7. 関東	2. 熊本県内 5. 近畿 8. その他 () 3. 九州内 6. 中部
5.将来、氷川町に（戻って）住みたいですか	1. 住みたい（戻りたい） 2. 住みたくない（戻りたくない）	
6.その理由は何ですか (あてはまるものすべてに○)	1. 町に働きたい就職先がある 2. 町に働きたい就職先がない 3. 通勤、通学に便利 4. 通勤、通学に不便 5. 実家がある 6. 親から独立したい 7. 町に愛着がある 8. 町に愛着がない 9. 住むのに最適な環境である 10. 住むのに最適な環境でない 11. 転勤がなさそう 12. 転勤がありそう 13. 友人や知人が多い 14. 友人や知人が少ない 15. 安定した収入が得られる 16. 安定した収入を得られない 17. その他 ()	
7.（「住みたい（戻りたい）」と回答した方のみ） 戻る時期はいつ頃ですか	1. 卒業・就職に合わせて 2. 退職したら 3. 未定 4. その他 ()	
8.氷川町に定住するために必要なことは何だと考えますか (あてはまるものすべてに○)	1. 雇用機会が確保されている 2. 通勤・通学ができる 3. 医療施設やサービスが充実している 4. 子育て関連施設やサービスが充実している 5. 高齢者施設やサービスが充実している 6. 教育施設が充実している 7. 物価や地価が安い 8. 公共交通の利便性が高い 9. 自然環境や治安がいい 10. 商業施設が充実し賑わいがある 11. 自然災害に強い 12. 親族・友人・知人が近くにいる 13. その他 ()	

平成26年4月1日以降に氷川町へ転入した方がいる世帯のみお答えください。

問9 氷川町への移住（転入）についてお聞きします。

1.いつ氷川町へ転入されましたか	平成・令和 年 月
2.どちらから転入されましたか (一つに○)	1. 八代市 2. 宇城市 3. 熊本市 4. 県内他市町村 (市・町・村) 5. 熊本県外 (都・道・府・県) 6. 海外 (国名:)
3.転入するきっかけは何でしたか (あてはまるものすべてに○)	1. 就職・転勤・転職・起業 2. 退職 3. 結婚 4. 妊娠・出産 5. 子育て 6. 子どもの進学 7. 親や子、孫との同居・近居 8. 親や親族等の介護 9. 住宅の新築や購入 10. 田舎暮らし 11. その他 ()
4.氷川町を選んだ理由は何ですか (あてはまるものすべてに○)	1. 生まれ育った町だから 2. 自分や家族の持ち家があるから 3. 寮や社宅に住むから 4. 家族や親戚、友人がいるから 5. 農業ができるから 6. 希望に合う土地・物件があったから 7. 交通・通勤・通学の利便性が良いから 8. 日常の買い物の利便性が良いから 9. 保育所や公園などの子育て環境が良いから 10. 学校などの教育環境が良いから 11. 文化・スポーツ施設が利用しやすいから 12. 福祉・医療施設が利用しやすいから 13. 自然環境が豊かだから 14. 街並みや景観が良いから 15. 治安が良いから 16. 行政サービスの充実 17. その他 ()
氷川町に転入して満足していますか。 満足度を 0～100%でご記入ください。	%
その理由をご記入ください。	

18歳以上の独身の方がいる世帯のみ、**独身の方本人**がお答えください。
(複数の場合、どなたかお一人)

問 10 結婚の意向についてお聞きします。

1.あなたの年齢	1. 10代 4. 40代	2. 20代 5. 50代以上	3. 30代
2.あなたの性別	1. 男	2. 女	
3.あなたは結婚したいと思いますか (一つに○)	1. 今すぐにでも結婚したい 2. 今はいいが、いずれ結婚したい 3. 結婚したい気持ちはある(あった)があきらめている 4. 結婚したくない		
4. (上記設問で、3、4 と回答した方のみ) その理由は何ですか (3つまで○)	1. 結婚相手に出会う機会がない 2. 自分の健康に不安がある 3. 自分または相手の仕事の事情 4. 年齢的なことを考えて 5. 仕事を優先させたい 6. 経済的に不安定 7. 両親の面倒をみなければならない 8. 生涯を独身で過ごしたい 9. 結婚しても明るい未来があるとは思えない 10. 結婚しなくても今の生活に満足している 11. 子どもを育てる自信がないから 12. 子どもが欲しくない 13. その他()		

女性がいる世帯のみ、**女性の方本人**がお答えください。(複数の場合、どなたかお一人)

問 1 1 出産の意向についてお聞きします。

1. 18 歳以下のお子さまの数と、理想のお子さまの人数をご記入ください ※理想のお子さまの数は現実とは関係なくご記入ください	現在の 18 歳以下のお子さまの数 (いない場合は「0」と記入) _____ 人 理想のお子さまの数 _____ 人
2. 今後、子どもが欲しいと思いますか (一つに○)	1. 今すぐにでも子どもが欲しい 2. 今はいいが、いずれは子どもが欲しい 3. 子どもが欲しい気持ちはある(あった)があきらめている 4. 子どもは欲しくない
3. (上記設問で、3、4 と回答した方のみ) その理由は何ですか (3 つまで○)	1. 子どもは今の人数で満足している 2. 子どもを持つことで責任や負担が増す 3. 子どもの育児ばかりに時間を取られることがいや 4. 配偶者が子どもを持つことを望んでいない 5. 子どもを産み育てる経済的な余裕がない 6. 出産や子育てについて、勤務先の福利厚生や支援制度が充実していない 7. 出産や子育てについて、国や自治体の各種支援が充実していない 8. 産婦人科や小児科等の医療機関を確保できないから 9. 保育所など子どもの預け先を確保できないから 10. 子育てに十分な広さの住まいを確保できないから 11. 自分自身の年齢や健康を考えて 12. 配偶者の年齢や健康を考えて 13. 身近な人(兄弟姉妹、友人、知人等)が子どもを産んでいないから 14. 子どもの将来のための経済的な支援が難しいから 15. 特に理由はない 16. その他 ()

全ての世帯がお答えください。

問 1 2 町外に住むあなたのご家族についてお聞きします。

1.これまでに、あなた（世帯主）と同居していたことがあるものの、 <u>現在は町外へ転出</u> しているご家族はいますか。		1. いる (以下の設問へ)	2. いない (以降、回答不要 13 ページへ)
2.そのご家族の方についてご記入ください。※年齢順に 3 名まで			
1 人目	世帯主との続柄	1. 親 2. 子 3. 孫 4. 兄弟姉妹 5. その他 ()	
	現在のお住まい	1. 県内 () 市・町・村 2. 県外 () 都・道・府・県	
	転出の理由	1. 進学 2. 就職 3. 結婚 4. その他 ()	
	帰省頻度	1. 1 週間に 1 回程度 2. 半月に 1 回程度 3. 1 か月に 1 回程度 4. 2～3 ヶ月に 1 回程度 5. 半年に 1 回程度 6. 1 年に 1 回程度 7. ほとんど帰らない	
	U ターン可能性	1. ある 2. ない 3. 不明	
	何があれば U ターンできるか	1. 仕事 2. 住まい 3. その他 ()	
2 人目	世帯主との続柄	1. 親 2. 子 3. 孫 4. 兄弟姉妹 5. その他 ()	
	現在のお住まい	1. 県内 () 市・町・村 2. 県外 () 都・道・府・県	
	転出の理由	1. 進学 2. 就職 3. 結婚 4. その他 ()	
	帰省頻度	1. 1 週間に 1 回程度 2. 半月に 1 回程度 3. 1 か月に 1 回程度 4. 2～3 ヶ月に 1 回程度 5. 半年に 1 回程度 6. 1 年に 1 回程度 7. ほとんど帰らない	
	U ターン可能性	1. ある 2. ない 3. 不明	
	何があれば U ターンできるか	1. 仕事 2. 住まい 3. その他 ()	
3 人目	世帯主との続柄	1. 親 2. 子 3. 孫 4. 兄弟姉妹 5. その他 ()	
	現在のお住まい	1. 県内 () 市・町・村 2. 県外 () 都・道・府・県	
	転出の理由	1. 進学 2. 就職 3. 結婚 4. その他 ()	
	帰省頻度	1. 1 週間に 1 回程度 2. 半月に 1 回程度 3. 1 か月に 1 回程度 4. 2～3 ヶ月に 1 回程度 5. 半年に 1 回程度 6. 1 年に 1 回程度 7. ほとんど帰らない	
	U ターン可能性	1. ある 2. ない 3. 不明	
	何があれば U ターンできるか	1. 仕事 2. 住まい 3. その他 ()	

全ての世帯がお答えください。

問 1 3 今後の氷川町についてあなたのお考えをお聞かせください。

1. これからも氷川町に住み続けたいですか (一つに○)	1. 住み続けたい 2. 県内他市町村へ移りたい 3. 県外へ移りたい 4. その他 ()
2. 氷川町が他市町村と連携して、地域の魅力発信、地域経済の活性化、定住促進などに取組むことについてどう感じますか (一つに○)	1. 熊本県の全体で連携するべき 2. 近隣の市町村と連携するべき 3. どちらともいえない 4. あまり必要ないと思う 5. まったく必要ないと思う
3. (「連携するべき」と回答された方のみ) 特にどこの市町村と連携すべきだと思いますか (あてはまるものすべてに○)	1. 八代市 2. 宇城市 3. 芦北町 4. 熊本市 5. その他 ()
4. 今後、氷川町の<u>人口減少対策</u>や<u>地方創生</u>への取組として重要な取組は何だと思えますか (3つまで○) ※地方創生…東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることを目的とした一連の政策のこと	1. 地域ぐるみで進める農漁業の振興 2. 商業地の活性化、商工業の振興 3. 後継者の育成対策 4. 企業活動支援や企業誘致の促進 5. 若者の定住や就業促進のための環境づくり 6. ツーリズムの推進や観光振興による交流人口の創出 7. 移住者の積極的な受け入れ 8. 子どもを産み育てやすい環境づくり 9. 将来の町を担う子どもの教育環境の充実 10. 高齢者や障がいのある人が暮らしやすい福祉の充実 11. いきいきと暮らすための健康づくり 12. 住環境の整備による快適で暮らしやすい環境づくり (ベッドタウン) 13. 防災、防犯、交通安全対策による安心・安全なまちづくり 14. 生活機能が確保されたコンパクトなまちづくり 15. その他 ()

※質問は次頁へ続きます

5. 今後、結婚・出産・子育ての希望を叶えるために重要だと思う事業は何だと思いますか
(3つまで○)

1. 結婚希望者への婚活支援事業
2. 子育て世代への居住支援事業
3. 町民が出産した際に祝い金を支給する事業
4. 妊産婦の家事、育児に対してホームヘルパーを派遣し支援する制度
5. 妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業
6. 妊娠前や妊娠期間中の相談、情報の提供、助言その他援助を行う事業
7. 子育てについての相談、情報の提供、助言その他援助を行う事業
8. 児童・生徒の医療費を全額助成する事業
9. 児童本などの読み聞かせによる子育てを支援する事業
10. 病児・病後児を看護するための民間施設・医師などの配置について支援する事業
11. 養育支援が特に必要な家庭に対して、適切な養育の実施を確保する事業
12. ある理由により乳幼児について一時的に預かり、必要な保護を行う事業
13. 保育所等において利用時間以外の日及び時間において保育を実施する事業
14. 子育てに必要な費用（保育料、給食など）を助成する事業
15. 保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童に対して、放課後適切な生活の場を与えるような支援事業
16. 乳幼児の健康相談ができるような支援事業
17. PTA や子ども会による子どもたちの健全な育成のための地域活動の支援
18. 子育て親子の交流等を促進するような子育て支援拠点の設置
19. その他（ ）

問 1 4 「氷川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 2015」で掲げている次の 5 つの基本目標につきましてご提案やご意見があればご記入ください。(記入欄が不足する場合は別紙でも構いません)

1. 地域産業の興隆（農業、商工業、企業誘致）

☐ 元気な地域産業の育成

☐ 持続可能な地域産業の育成

2. 町内外の交流（観光、情報発信、移住定住）

☐ 催し開催による交流促進

☐ 魅力発信による移住定住促進

3. 結婚・子育て・教育

☐ 安心して産み育てられる子育て支援

☐ 地域と連携した子育て環境ときめ細やかな学習支援

☐ 結婚希望者への結婚応援

4. 町の暮らしやすさ、安心・安全、住宅政策、防災

☐ 住宅整備・利活用の促進

☐ 安全・安心・快適な生活環境の創出

☐ 地域防災の強化

5. 町の地域資源（魅力、宝）について

問 1 5 その他にご意見等ありましたらご自由にお書きください。

問 1 6 氷川町の情報発信についてお聞かせください。 町では、町の魅力をわかりやすく、より広くPRするため、SNSを活用した情報発信を行っています。

1. 氷川町のフェイスブック (facebook) を知っていますか	1. 知っている	2. 知らない
2. 氷川町のインスタグラム (Instagram) を知っていますか	1. 知っている	2. 知らない

アンケートは以上です。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

氷川町フェイスブック

【アカウント名】
氷川町キャラクターひかりん



氷川町インスタグラム

【アカウント名】
Kumamoto.hikawa_life



アクセスしてみてね！